

- ・ 奈良県立高等学校 スクールミッション一覧
- ・ 奈良県立高等学校 中期計画

各県立高等学校 スクール・ミッション一覧表

番号	学校名	スクール・ミッション
1	奈良朱雀・奈良商工(全)	地域社会に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストの養成
	奈良朱雀・奈良商工(定)	少人数での学習を通して、工業や商業の専門分野に関する知識と技能を身に付け、自分の可能性を広げようとする生徒の育成
2	国際	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な人々との積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成します。</li> <li>○ 強い探究心と主体性をもって、国際社会で新たな価値を創造していく自律した態度を育成します。</li> <li>○ 国際社会で求められる自他を尊重する精神と豊かな感性を育成します。</li> <li>○ 健やかな心身により、国際社会で活躍するための旺盛な行動力を育成します。</li> </ul>
3	奈良	「自主創造」の学びを通して、日本、世界のよりよい未来に貢献していくグローバルリーダーの育成
4	西の京	地域の課題解決や発展に寄与する人材の育成
5	高円・高円芸術	普通科と芸術系学科からなる本校の特性を生かした感性豊かな人材の育成。地域社会の芸術文化の担い手の育成。
6	山辺	総合学科高等学校教育の特色を継承し、一人一人の生徒の個性・可能性を伸ばし、「自分らしさ」を育てる教育を展開し、地域社会に貢献できる力を育成します。
	山辺 山添分校	農業科は山添村の気候風土に即した農業、家政科は村の産業であったホームスパン(羊毛手織りの技法)を授業に取り入れ、少人数教育の良さを生かし、徳・体・知の調和がとれ、地域社会で活躍できる人材を育成します。
7	高田	「自彊・和敬・創造」の校訓のもと、生徒各自が進路実現を果たし、地域社会を創生・牽引する人材や、教員として奈良県教育を支える人材の育成を目指します。
8	郡山	長い伝統の中で培われた文武両道の精神を基礎に、社会に有為な人材を育成します。
9	大和中央(定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>・生徒の「個別最適な学び」や「学び直し」等に対する支援</li> </ul>
	大和中央(通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>・生徒の「学び直し」や不登校生徒等に対する支援</li> </ul>
10	添上	自立した社会人(社会に役立つ仕事ができる[社会貢献、社会奉仕]・仲間と共に働くことができる[協働]・心身が鍛えられた人材[健康な心身])の育成。
11	二階堂	将来のやりたい自分を実現するため、主体的にキャリアデザインに取り組む人材を育成します。また、地域を題材としながら、社会人基礎力を高め、社会に貢献する人材を育成します。
12	橿原	「橿高リベラルアーツ教育」 多分野にわたる教科学習や学校行事、部活動など、すべての教育活動を互いに関連付けて実施することで、物事を多角的に見る力と多様性を理解する力を磨き、自ら課題を発見し、それを主体的かつ協働的に解決する能力を身に付けたより良い未来の社会の担い手を育てます。
13	畝傍(全)	知・徳・体の調和がとれ、自律的・創造的でグローバルな視野をもった、次代を切り拓くリーダーの育成
	畝傍(定)	多様な学びのニーズに応え、自立した社会人を育成します
14	奈良情報商業・商業	変化の激しい社会をたくましく生き抜き、地域経済の発展に貢献・活躍できる商業人材の育成
15	桜井	自由に、その個性に応じて時代感覚をもった学殖豊かな世界人の育成 豊かに自分らしく生きるため、自分を変える「勇気」と自他を受け入れる「愛」を育み、安全・安心な社会の構築に貢献する生徒を育成します。
16	五條(全)	校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成

各県立高等学校 スクール・ミッション一覧表

番号	学校名	スクール・ミッション
17	御所実業	「ものづくりは人づくり・夢づくり」を基本テーマとし、「ものづくり」を通して喜びや達成感を味わい、総合的な人間力を土台にし、さまざまな分野で活躍できる社会人・職業人の育成
18	青翔	中高一貫6年間を通じた理数教育の推進により、地域に貢献するとともに、科学技術創造立国たる日本の未来を牽引するサイエンスイノベーターを創出します。
19	生駒	自立した社会人の育成を目指して、「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人間性をはぐくみ、心身を鍛えることによって一人ひとりが高い志をもって目標達成に向けていきいきと行動ができる生徒を育てます。
20	奈良北	科学技術の振興や社会の発展に貢献する人材の育成、グローバル人材の育成
21	香芝	これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材 2 探究的な学習を通して、コミュニケーション能力や情報活用能力を備えた人材 3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材
22	大字陀	「新輝点 大字陀高校」をスローガンとし、地域と共に歩み続ける学校づくりを進めながら、世界で活躍できる人材を育成します。
23	榛生昇陽・宇陀	いのちを大切にするとともに未来を切り拓く力を育み、自信と誇りをもって地域に貢献する生徒の育成
24	西和清陵	他者を尊重し、さわやかに振る舞うとともに、課題解決に尽力するなど、社会人としての「生きる力」を育成します
25	法隆寺国際	県立高等学校唯一のユネスコスクールとして、自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成
26	磯城野	衣食住について専門的に学び「生きる力」を培い、農業系・家庭系の未来のスペシャリストを育成します。 〈具体像〉1 生徒が自己実現、進路実現できる力を育成する。 2 生徒の専門分野の知識・技能を伸張させる。 3 奈良県の農業科教育、家庭科教育の中核として、その実践・成果を発信していく。
27	高取国際	地域から学び、地元や国内のみならず、世界で活躍できる人材の育成
28	王寺工業	工学的な知識・技術を活用し、グローバルな視点を持ちながら地域コミュニティを支えるグローバルな人材の育成
29	大和広陵	スローガン <スポーツ(部活動)をとおしての人づくり> ・教育活動をとおして、一人一人の進路実現、自己実現を目指します。 ・体育活動、スポーツ活動をとおして、健やかな身体、健全な精神を育てます。 ・地域での活動や社会参加活動をとおして、地域と融合し地域の活性化に寄与する人材を育てます。
30	大淀・奈良南	地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域住民等が参画することにより、信頼される「魅力ある学校づくり」に努めます。また、様々な教育活動を通して人権尊重の精神をもち、社会に貢献する自立した人材を育成します。 専攻科を有する高等学校として奈良県・地域社会のニーズに応えていきます。
31	吉野	120年余の伝統を礎として、実学教育を推進し、ものづくりを通して地域社会の発展に貢献できるスペシャリストを育てます。
32	十津川	「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成、将来の地域を担う人材の育成及び輩出

奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校 中期計画(全日制課程)

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		地域社会に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストの養成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の学科の特色を理解し、明確な進路目標を掲げて高校生活を送ることができる生徒 2 本校志望の意志が強く、社会の変化に対応できるよう主体的に学習に取り組み、学校行事、部活動、地域交流等に積極的に参加し、常に自らを高め、「目標」に向かって努力する生徒 3 ものづくりや科学技術に関心をもち、工業に関する知識・技能の習得と資格取得に積極的にチャレンジする生徒 4 ビジネス社会に関心をもち、ビジネス活動に必要な資格の取得に向けて一生懸命に努力することのできる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 実社会で役立つ資格を取得し、社会に貢献できる専門力を育成します。 2 最先端の機器を活用して、ものづくりやビジネスに関する実践・実習を行います。 3 大学や専門学校、企業等と連携した高度な授業や技術講演会を実施します。 4 就職や進学に対応した柔軟な科目選択や少人数指導を行います。 5 生徒会活動、部活動、ボランティア活動を通して、他者と協働する力を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 人間尊重の精神に徹し、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させることができる。 2 将来にわたり、高い志をもち、自から学び、自ら考え、社会の変化に柔軟に対応することができる。 3 主体的に行動し、地域社会の中核として活躍することができる。 4 専門的知識と確かな技術を習得し、工業や商業の発展に寄与することができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力・運動能力・運動意欲の向上	●運動部・文化部加入率(前年度比5%増) ●定期的な運動習慣がある・運動が好きな生徒等の割合(アンケート70%以上)
	基本的な生活習慣の確立	●あいさつの励行(アンケート90%以上) ●遅刻数の減少(前年度比5%減)
	食育の推進	●朝食を毎日食べている生徒の割合(アンケート90%以上) ●食生活の大切さを理解している生徒の割合(アンケート90%以上)
	健康維持	●体調不良等による保健室への来室数(前年度比 5%減)
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	アクティブラーニングの実践	●アクティブラーニングによる授業・探究・課題研究の推進(アンケート80%以上)
	ICTを活用した授業の充実	●生徒のICT機器活用力の向上、ICT機器を活用した授業の生徒評価(アンケート80%以上)
	教員の働き方改革	●教員の1か月の超過勤務時間数削減(3か月連続45時間超過する教員数0)
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	●インターンシップ・デュアルシステム参加生徒数(在学中参加70%以上)
	実学教育の推進	●社会人講師等を招いての実習・講演・授業実施等(年間50回以上)
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域との連携・協働の推進	●コミュニティスクールの積極的な運営 ●地域行事への生徒の参加・地域の人々を学校へ招いての行事等の実施(年間10回以上)
	地域に貢献する人材の育成	●地域との連携事業実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	●「人権教育推進プラン」に沿った取組の推進 人権講演会各学年1回以上 職員研修年間1回以上
	いじめの未然防止・不登校等への対策	●「奈良県いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」にもとづく取組の徹底と定期的なアンケート実施(アンケート2回) ●スクールカウンセラーとの連携(コーディネーター会 年間6回)
	特別支援教育の推進	●定期的な特別支援教育推進委員会の開催による情報共有と個別の支援計画の作成(委員会開催による情報共有5回・支援計画全員)
	多文化共生教育の充実	●多文化理解のためのHRの展開

奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校中期計画(定時制課程)

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		少人数での学習を通して、工業や商業の専門分野に関する知識と技能を身に付け、自分の可能性を広げようとする生徒の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 他者への思いやりの心を持ち、多様な仲間とともに学校生活を送りたい生徒 2 日々の授業を大切に、部活動や生徒会活動、学校行事にも積極的に取り組む意欲のある生徒 3 工業や商業に興味を持ち、自らの進路実現に向けて取り組む意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒の実態に合わせて教材を精選し、基礎学力を定着させ、真剣に学習に取り組む意欲と態度を育てます。 2 工業や商業に関する専門性を高め、実社会で通用する資質・能力の習得を図ります。 3 少人数のメリットを生かし、実習や資格試験ではマンツーマンに近い形で丁寧に指導します。 4 学校行事や生徒会活動を通して、共に成長できる環境づくりに努めます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 多様な他者と協働し、互いに理解し、共に支え合うことを大切に行動できる。 2 社会で必要なルールやマナーを身に付け、地域社会や職場から信頼される。 3 基礎的・基本的な知識や技術を修得し幅広い分野で活躍することができる。 4 自分で課題を見つけ、それを解決し、将来にわたって学び続けることができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基本的な生活習慣の確立	・年間遅刻回数の減少(前年度比-5%) ・進んで挨拶しようとする生徒の割合90%以上
	運動に対する意識の向上	・体育の授業に意欲的に取り組む生徒の割合95%以上 ・運動が好きな生徒または定期的な運動習慣のある生徒の割合80%以上
	望ましい食習慣の確立	・食生活の大切さを理解している生徒の割合80%以上 ・一日規則正しく3食食べる生徒の割合80%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業で興味・関心が高まると感じている生徒90%以上
	ICTを活用した教育の推進	・ICTを活用した授業ができる教員の割合90%以上 ・ICTを活用して学習できると感じている生徒の割合90%以上
	交通安全・防犯・防災教育の推進	年間2回以上講演会や訓練等を実施
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップ等の就労体験の充実	インターンシップをはじめ、在学中に就労を体験する生徒の割合80%以上
	キャリア教育の推進	キャリアパスポートの活用率の向上
	進路実現に向けた取組の推進	・進路に関する講演会等を年間3回以上開催 ・学校が進路実現を積極的に支援してくれると感じている生徒の割合95%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習成果の蓄積
	地域との連携・協働の推進	コミュニティスクールの積極的な運営 地域の幼稚園や保育園等との交流活動等を年間2回以上実施
	地域に貢献する人材の育成	通学路及び学校周辺の清掃活動等を年間3回以上実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	一人一人の個性を認め合う生徒の育成	一人一人の個性を尊重することが大切であると感じている生徒の割合90%以上
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	学校は安心して居心地良く過ごせる場所であると感じている生徒の割合90%以上 いじめのアンケート等を年間2回以上実施
	人権教育の推進	「人権教育推進プラン」に沿った取組の推進 人権講演会を年間1回以上、職員研修を年間1回以上開催

奈良県立国際高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
Mission (本校の使命)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な人々との積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成します。</li> <li>○ 強い探究心と主体性をもって、国際社会で新たな価値を創造していく自律した態度を育成します。</li> <li>○ 国際社会で求められる自他を尊重する精神と豊かな感性を育成します。</li> <li>○ 健やかな心身により、国際社会で活躍するための旺盛な行動力を育成します。</li> </ul>	
School Policy (教育方針)	Admission Policy (入学者の受け入れに関する方針)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の使命や育成を目指す資質・能力を理解し、教育課程全般に前向きに取り組むことができる生徒</li> <li>・中学校段階で求められる基礎的な学力を身に付けている生徒</li> <li>・多様な人々とのコミュニケーションに意欲的に取り組む生徒</li> <li>・国際社会の平和と発展に貢献する意欲をもつ生徒</li> </ul>
	Curriculum Policy (教育課程の編成及び実施に関する方針)	<p>本校では、Mission実現のため、以下の教育を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用により個別最適な学びを目指します。</li> <li>・探究活動をはじめとするあらゆる教育活動で協働的な学びを推進します。</li> <li>・学校設定教科「国際教養」を中心とした系統的総合的な教育課程を編成します。</li> <li>・社会に開かれた教育課程の実現に向けて学校全体でカリキュラムマネジメントを徹底します。</li> <li>・「世界とつながる高校。」をテーマにグローバル教育を推進します。</li> </ul>
	Graduation Policy (育成を目指す資質・能力に関する方針)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の様々な課題について、探究心をもって課題を発見し、解決に導く。(探究力)</li> <li>・自分の考えや常識にとらわれず、創造的に考え、新たなアイデアを生み出す。(創造力)</li> <li>・文化や言語の違いを超えて、協力・協働しながら互いに高め合う。(協働力)</li> <li>・文化や考えの違う他者の意見や存在を、社会をよりよくしていくための重要なものとして受け入れ共に高めようとする。(寛容さ)</li> <li>・課題について、失敗を糧にしながらか意欲的に解決に向かう。(挑戦力、レジリエンス)</li> <li>・希望する進路に向けて、課題を把握し、解決のために行動を起こす。(キャリアデザイン力)</li> </ul>

2 奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	教育相談体制の充実	個別の生徒対応度 90%以上 (生徒アンケート 全学年平均)
	学校保健活動の充実	学校保健委員会の開催年2回
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	授業満足度 80%以上 (生徒授業アンケート 全項目平均)
	ICTの効果的な活用	ICT活用度 80%以上 (生徒授業アンケート 教科総合平均)
	働き方改革を念頭においた職場環境の整備	総合健康リスク 100以下 (教職員ストレスチェック)
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリアサポート体制の整備	進路支援度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)
	インターンシップやフィールドワークの充実	参加率 25%以上 (3年間の参加者累計)
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	グローバルマインドの育成	海外連携校 10校 (3年間の累計)
	外部機関との連携の促進	外部機関との連携回数 50回 (3年間の累計)
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育、多文化理解の推進	満足度 95%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)
	個に応じた指導の効果的な実施	多面的評価満足度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)

奈良県立奈良高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
本校の使命 (スクール・ミッション)	「自主創造」の学びを通して、日本、世界のよりよい未来に貢献していくグローバルリーダーの育成	
教育方針 (スクール・ポリシー)	本校が求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)	<p><b>「自主創造」型自己変革の追求</b>                  高い理想と目標に向けて、絶えず知性を磨き、自主的な判断と行動を通じて、真摯に人格の成長を目指す生徒を求めます。                  ①積極的な勉学や課外活動を通して、豊かな知性の創造を目指していくような、明るく豊かな活力のある生徒                  ②人間としての在り方・生き方を自覚し、堅い意志をもって自らの行動を律する主体性をもった生徒                  ③自由と責任を自覚するとともに、人間尊重の精神を基盤として、多くの人と敬愛と信頼に満ちた人間関係を築くことができる生徒</p>
	本校が展開する教育活動 (カリキュラム・ポリシー)	<p><b>主体的・未来志向型の学び</b>                  未来を生きる生徒の能力や個性を最大限に伸ばすため、「自主創造」の学びを通して、深い思考力・豊かな知識の涵養を図る教育を創造します。                  ①主体的・探究的な学習により、生徒の高い理想と多様な未来につながるような確かな資質・能力を身に付けることができる教育課程を構成します。                  ②科学的思考力に企画提案力・マネジメント力を付加していく教育プログラムにより、科学技術系グローバルリーダーを育成します。                  ③生徒が「自主創造」の精神を発揮しながら、笑顔が輝く学校生活を実現していくような教育内容を創造する。また、地域との双方の連携を構築する中で、地域から世界に発展的に貢献していく人材を育成します。</p>
	本校を卒業するまでに身に付けさせる力 (グラデュエーション・ポリシー)	<p><b>次世代型competenceの育成</b>                  「自主創造」の精神を承継し、「自ら学び、自ら考え、自ら開拓する」姿勢を身に付け、日本、世界のよりよい未来に貢献していく人材を育成します。                  ①豊かな知識、論理的・科学的思考力及び客観的判断力を基盤として、物事を様々な角度から多面的に捉え、本質を見極める力を育成します。                  ②人の優しさ、心の痛みに気付き、そこから他人への感謝や相手を気遣うような「繊細で温かい心」を育てます。                  ③国籍、文化の違いを超えて物事を捉え、日本や世界のよりよい未来の実現に主体的に貢献していくグローバルリーダーを育成します。</p>

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1 こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	事故・けがを予防する能力や態度の育成	日本スポーツ振興センターへの災害共済給付申請数を20%削減
	自ら健康の保持増進を図る意欲の向上	定期健康診断後の受診率20%向上
	体力の向上	新体力テストで、全項目全国平均を上回る
	教育相談活動の推進	全ての教員が必ずスクールカウンセリング研修会やスクールソーシャルワーカー等の事例検討会、又は生徒理解にかかる研修の機会に参加
2 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的に深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケートにおいて、「授業を受けて、力がついたり、知識が豊かになったと実感できる。」と回答する生徒の割合が70%以上 課題研究の個人用ルーブリックにおける課題解決力・科学的探究力の観点で、「十分満足できるレベル」（複合的なアプローチを行う。複数の科目領域の手法を用いる。継続的に探究活動を進展させる。）以上の評価をする生徒の割合が70%以上 授業交流・公開授業において、教科・科目の枠を超えて、授業見学や公開授業を各教科で実施
	学習意欲の向上	授業アンケートにおいて、「考えたり、活動したり、問題を解いたりする機会が授業中にほぼよく確保されている。」と回答する生徒の割合が70%以上 課題研究の個人用ルーブリックにおける主体性・主体的な活動の観点で、「十分満足できるレベル」（常に積極的で期待以上に取り組み、周囲に前向きな影響を及ぼす。）以上の評価をする生徒の割合が70%以上
	深い学びの実現を見据えた文化講座、文化鑑賞会の充実	生徒の知的好奇心を刺激するような内容のものを提供し、満足したと回答する生徒の割合を80%以上
	図書貸し出し冊数の増加及び安定	年間貸し出し冊数の総計を前年の約1,600冊から2,000冊程度に増加
	ICT機器を活用した教育の推進	ICTの活用など探究的な授業を教員の60%が実践
	実践的な避難訓練を通じた防災教育の充実	年1回のシェイクアウト訓練と避難訓練の確実な実施により、避難経路の確認と、防災意識の高揚につなげる
	通学途上の安全確保の取組	通学途上における怪我等における学校保険の適用数の減少
	3 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア関連行事の充実
広報活動の充実		学校行事や生徒の活動の様子及び育友会活動等の様子を伝える育友会活動の学校ホームページへの記載記事を充実する 学校通信を年2回以上発刊
4 地域と協働して活躍する人を育てる	地域連携センター平城山の取組の推進	関連行事に、3年間で1回以上関わる生徒の割合が70%以上
	グローバルマインドの育成	海外校との交流機会を年度2回確保し、参加生徒の満足度が90%以上
5 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	「毎月11日は『人権を確かめ合う日』」を活用して、人権問題と自己の関わり方について考え、行動できる生徒が90%以上 人権学習ホームルームにおいて、その内容を理解し、教育活動を評価する生徒が90%以上
	人権教育の研究促進	教職員に対して、人権教育に関する研修機会の情報を広く知らせ、全体の90%以上の教職員が年間2回以上の研修会に参加
	学校いじめ防止方針等に基づく取組	「こころといじめのアンケート」で、「本音や悩みを話せる友達がいる。」と回答する生徒の割合が90%以上 「ヤングケアラーに関するアンケート」で、「あなたは、今のあなたの状況について、学校の先生に相談したいですか。」という質問において、先生など相談する相手がいないと回答する生徒の割合が10%以下

対象期間	令和4年4月～令和5年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	地域の課題解決や発展に寄与する人材の育成	
教育方針 (スクール・ポリシー)	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、広い視野に立ち、可能性を追求し、自ら考える力を身に付け、問題解決や目標達成に向けた思考力・判断力・表現力をもった創造力豊かな人間の育成を教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 きめ細やかな個別指導を通して、個々の基礎学力の定着を図る。 2 ひとりひとりの進路適性に応じた特色ある教育課程の編成に努める。 3 生徒の主体的・継続的な活動を積極的に評価し、生涯にわたる学習の基礎を培う。 4 生徒の活動意欲を高め、進路実現に供するために活動の場をひろげ、高大連携やボランティア活動等の連携を積極的に進める。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 体験や活動を通じた主体的・対話的で深い学びにより、地域を支えることができる。 2 自分の興味・関心・特技をいかして、地域の課題を理解し、課題解決や地域の発展に寄与することができる。 3 自己を客観化する力(自己洞察力)を身に付け、自己実現に向かって意欲的に取り組むことができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和4年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	スポーツテスト平均Tスコア50.0以上
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率90%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的な学びにおけた授業改善	授業アンケートの結果、授業満足度80%以上
	進路実現に向けた学習意欲の向上	基礎診断テストにより学習意欲の喚起を図る
	オンライン教育・ICT活用の推進	全教科において、ICT機器を利用した授業や、オンラインでの教材の活用を実践する
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	進路や仕事に対する理解を深める	進路ガイダンス、講演会を2回以上実施する
	就職希望者のミスマッチを防ぐ	応募前職場見学参加率100%、就職率100%
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域の課題発見と課題解決に向けた提言	課題研究の成果を各自4000字程度の小論文にまとめ、地域に提言する
	地域との協働を推進	これまで継続してきた地域との連携事業を継続し、ボランティア活動に、延べ100人以上参加
	生徒のICT活用能力の向上	各種ソフトの活用能力を50%以上は向上させる
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	登下校時の安全指導と苦情件数の減少	公共の交通マナーを向上させる
	人権教育学習資料の活用	性的マイノリティについて理解を深める



奈良県立高円・高円芸術高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		普通科と芸術系学科からなる本校の特性を生かした感性豊かな人材の育成。地域社会の芸術文化の担い手の育成。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒。 2 自ら考え、自ら行動し、他者との対話を通じ、学習活動に協働的に取り組むことができる生徒。 3 互いの立場を理解しようとする人権尊重の精神を持ち、他者との関わりを通じて自己の成長を目指す生徒。 4 普通科においては、基礎的な学力を身につけ、学習活動に主体的に取り組むことができる生徒。 5 音楽科・美術科・デザイン科においては、自己の表現を探索し続ける姿勢と、生涯にわたって芸術文化に関わっていくこととする熱意にあふれ、学習活動に主体的に取り組むことができる生徒。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、主体的な学習態度に根ざした確かな学力の醸成・芸術文化の薫り添う学習環境に根ざした豊かな人間性の醸成・他者とのつながりと自己理解に根ざした健やかな心身の育成を教育方針とし、その実現のため、以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心に応じた科目選択が可能なカリキュラムを編成します。 2 奈良県唯一の「芸術高校」を名乗るのにふさわしい「学校設定科目」を開設し、すべての学科において、芸術文化の担い手の育成を目指します。 3 基本的な生活習慣を身につけさせ、規律ある学校生活を送ることができるよう、規範意識を育みます。 4 主体的な学習態度である「PDCA」サイクル【Plan:計画】【Do:実施】【Check:評価】【Act:改善】を身につけさせる学習指導を行います。 5 学習活動のすべての場面において、人権尊重の姿勢を育み、生徒の自己肯定感を高める指導を行います。 6 保健・食育指導等を通して、体力の向上を図り、心身の健康への意識を高める指導をします。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 他者とのつながりを大切に、自己の成長につながる努力を、卒業後も主体的に取り組むことができる。 【普通科】確かな学力と、芸術文化を理解する力に裏付けられた豊かな人間性を基盤に、地域社会への貢献を意識して主体的に行動する人材。 【音楽科】音楽文化の創造と発展に寄与し、地域社会に貢献しようとする人材。 【美術科・デザイン科】生活の中の造形や美術文化に関心を持ち、地域社会に貢献しようとする人材。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	○体育の授業にトレーニングや柔軟運動を随時取り入れ、「基礎体力の向上」を実感した生徒の割合70%以上を目指します。
	心身の発達	○スクールカウンセラー指導整備のもと「ピアクラブ委員会」に所属する生徒が学期に2回「ピアクラブ便り」を発行、時期に応じたセルフメンタルケアの方法等を紹介します。 ○子どもを理解する一助とする目的で、年2回、保護者宛「スクールカウンセラー便り」を発行、高校生の心の発達について情報提供します。 ○以上の取り組み等を通し、本校は「メンタルケア等に役立つ情報を発信している」と感じた生徒及び保護者の割合70%以上を目指します。
	望ましい食習慣の確立	○「食育だより」を年1回発行し、朝食の大切さや食事の重要性を呼びかけます。 ○育友会との連携を図り、食育をテーマとした「保護者対象講演会」を年1回実施します。 ○以上の取り組み等を通し「食習慣等の基本的な生活習慣が身につけている」と感じた生徒の割合70%以上を目指します。
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○本校の特色ある授業等の授業研究を実施し、授業改善に向けた教員研修の機会とします。 ○本校での学習活動により「学力が伸長した」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
	学習意欲の向上	○全科目において生徒の「PDCAサイクル」の醸成を目標とした授業を展開します。 ○年に2回、情報交換のための職員研修会を開催します。 ○本校での学習活動により「学習意欲が向上した」と実感した生徒の割合80%以上を目指します。
	オンライン教育の推進	○「電子黒板」やBYODによる生徒用端末を用いた各教科の授業研究を実施し、授業改善に向けた研修の機会とします。 ○オンライン教育推進のための教員研修を、年3回以上実施します。 ○本校のオンライン教育への満足度90%以上を目指します。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	○キャリア教育サポートセンター主催インターンシップ(夏期、冬期、春期)3回を実施するとともにアカデミック・インターンシップを含むインターンシップの取り組みへの参加を促し、参加率90%以上を目指します。
	産業界との連携の推進	○進路講演会「職業人に聞く!!」を年1回開催し、その成果が自身の職業選択のきっかけとなる学問への興味につながるよう生徒に働きかけます。 ○本校の取り組みが「将来を見据え具体的に進路を考えるきっかけになった」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
	キャリア教育の推進	○第1学年は「分野別進路ガイダンス」、第2学年は「学問別分野ガイダンス」、第3学年は「面接マナー講習会」及び「志望理由書対策講座」を実施します。また「大学等キャンパス見学会」及び「会場型進学ガイダンス」を実施します。 ○本校の取り組みが「自身の進路選択に役立った」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。

奈良県立高円・高円芸術高等学校 中期計画

4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	○学校運営協議会を年3回開催し、本校の教育活動への評価及び、本校の発展について意見交換の場をもちます。
	郷土の芸能、文化、自然等に関する学習の推進	○一年次の「総合的な探究の時間」で行う「ならまち探索」「正倉院訪問」等を通し郷土奈良への理解を深めます。 ○本校の取り組みを通して「郷土への理解や興味が高まった」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	芸術文化活動の推進	<p>■普通科■</p> <p>○特色ある学校作りを目指した学校設定科目である「総合芸術探求」や「伝統芸術探求」での学びを活かして、選択生徒が様々な学校行事において運営に参画するとともに、成果を発表します。 ○普通科の取り組みへの満足度90%以上を目指します。</p> <p>■音楽科■</p> <p>○様々な行事での演奏並びに、定期演奏会での演奏に向け、計画的に学習活動を進めます。 ○卒業演奏会での発表を3年間の学びの集大成とします。その経過点として、月例ホールコンサートを年間8回開催します。 ○地域と連携したアウトリーチ活動にも積極的に取り組みます。 ○音楽科の取り組みへの満足度90%以上を目指します。</p> <p>■美術科・デザイン科■</p> <p>○高円美術展を開催し、年間の学びの集大成とします。その経過点として様々な展覧会等への出品に向けた創作活動に取り組みます。 ○地域と連携した活動に積極的に参加します。 ○美術科・デザイン科の取り組みへの満足度90%以上を目指します。</p>
	人権教育学習資料の活用	○『なかまとともに 高等学校』（奈良県教育委員会発行）を、人権教育のホームルーム活動で積極的に活用します。 ○毎月11日の「人権を確かめ合う日」にあわせ、啓発プリントを発行し、生徒が人権意識の醸成を図ることのできるよう、教材を提供します。 ○本校の取り組みを通し「人権に対する意識が高まった」と実感した生徒の割合90%を目指します。
	学校いじめ防止方針に基づく取り組みの推進	○「こころといじめ等に関するアンケート」（奈良県教育委員会）を年2回以上実施します。 ○アンケート結果を分析し、適宜「いじめ対策委員会」を開き、それぞれの事案に迅速に対応します。 ○校内での人間関係に関する満足度80%を目指します。
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性のある活用	○生徒の実態に合わせた、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、合理的支援の必要性や方法について協議します。その内容は、本人及び保護者に随時確認するとともに、教員間で情報共有を図ります。 ○個々の生徒への教育支援に関する満足度90%を目指します。

奈良県立山辺高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		総合学科高等学校教育の特色を継承し、一人一人の生徒の個性・可能性を伸ばし、「自分らしさ」を育てる教育を展開し、地域社会に貢献できる力を育成します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。
		共通項目
		(1)自己の能力を積極的に高めようとする意欲のある生徒。 (2)各教科の学習に興味を持ち、進路実現に向け努力する生徒。 (3)進路実現に向けた資格取得に意欲的な生徒。 (4)科学的な視野を持ち、幅広く物事をとらえることのできる生徒。
	教育課程の構成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	普通科項目
		(1)生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続する意欲的な生徒。(スポーツ探究コース) (2)英語力を生かし、国際的な視野を広げる意欲的な生徒。(キャリア探究コース) (3)多様な分野で主体的に行動できる職業人となる意欲的な生徒。(キャリア探究コース) (4)食生活など家庭生活に関心を持ち、知識・技術の習得に励む生徒。(キャリア探究コース)
		農業科項目
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	普通科項目	
	(1)スポーツ実践に通ずる専門性のある授業、栄養学や倫理学、よりレベルの高い内容の体育実技についての学びを提供します。(スポーツ探究コース) (2)実用的な英語力と、上級学校への進学に対応できる英語力を身に付けます。(キャリア探究コース) (3)旬の野菜や地域の食材などを使って実習をし、栄養に関する知識を身に付けます。(キャリア探究コース) (4)コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報機器を活用する実習を多く取り入れ「情報活用能力」の育成を図ります。(キャリア探究コース)	
	農業科項目	
		(1)農場での実習を通して、教科書だけではない実践的な知識・技術を身に付けます。(生物科学科(探究科)) (2)動物と人間の関わりを理解し、動物管理についての知識や技術を習得します。(生物科学科(探究科)) (3)野菜・草花・茶について実際に畑や温室、茶園で栽培管理を学びます。(生物科学科(探究科)) (4)知的障害のある生徒を対象として、普通教科や農業についての探究的な学びを提供します。(自立支援農業科) (5)個々の障害の状態や個性に応じ、社会的自立に向けた学びを提供します。(自立支援農業科) (6)就業体験の機会を多く設定することで、将来の社会的自立に向けた経験の場を提供します。(自立支援農業科)
		普通科項目
		(1)生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続することができる。(スポーツ探究コース) (2)個としてのスキルアップはもちろん、リーダーシップや協調性、規範意識などを向上させることができる。(スポーツ探究コース) (3)英語を通して世界に目を向けることができ、広い視野を持つことができる。(キャリア探究コース) (4)栄養の基礎的・基本的な知識を学習し、食事管理に関する心構えを持つことができる。(キャリア探究コース) (5)商業科と情報科の基礎・基本的な知識と技術を習得し、ビジネスに対する心構えを持つことができる。(キャリア探究コース)
		農業科項目
		(1)農業についての基礎的・基本的な事項を理解し、活用できる。(生物科学科(探究科)・自立支援農業科) (2)人や動物を大切に思いやりを持つことができる。(生物科学科(探究科)・自立支援農業科) (3)地域社会に貢献でき、意欲を持って行動できる。(生物科学科(探究科)・自立支援農業科)

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	スポーツテスト平均Tスコア40以上
	望ましい運動習慣の確立	体育の授業などで、息がはずみ、汗をかく程度の運動を週合計60分、毎週続ける
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率60%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上
	学習意欲の向上	ジェネリックスキルテストにおける学習意欲に関する項目の得点の向上
	オンライン教育の推進	ICTを活用した授業時間外の学習活動50時間以上、教員の情報活用能力80%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ参加率95%
	産業界との連携の推進	「出前授業」を実施いただいた企業数5社以上
	キャリア教育の推進	キャリアパスポートの活用率の向上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会の年度3回の開催
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習成果の蓄積
	グローバルマインドの育成	異文化理解を深める機会を1回以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習資料の活用	教育委員会発行の「人権教育の手引き」をもとにSDGSの指標を活用したLHRの実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進(卒業までのいじめ全件追跡、いじめを発見した場合適切に介入すると答えた生徒の割合50%以上)
	個別の教育支援計画や指導計画の実効性のある活用	学期ごとに対象となる生徒の状況を組織的に確認

山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		農業科は山添村の気候風土に即した農業、家政科は村の産業であったホームスパン(羊毛手織りの技法)を授業に取り入れ、少人数教育の良さを生かし、徳・体・知の調和がとれ、地域社会で活躍できる人材を育成します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、次のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 学習に対して前向きな生徒 3 自己の能力を磨き、創造性を発揮できる生徒 4 人や自然を愛する豊かな心をもった生徒 5 人間尊重の精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、農業科や家政科の特性を生かし、チャレンジ精神に満ち、どんな困難にもくじけず、正々堂々と生きる人間を「ゆっくり、じっくり、たっぷり」育てることをモットーとして、その実現のために次の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味や関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 発達段階に応じて分かる授業を目指し、基礎的、基本的指導及び必要な支援を行い、個に応じた教育の充実を図ります。 3 社会で自立して生きていく力を身に付けられるよう、キャリア教育の充実を図ります。 4 基本的な生活習慣や人間性としてつべき規範意識を身に付け、主体的に判断して行動できる力を育てます。 5 部活動はじめ、すべての生徒の活動を活性化し、ルール・マナーの習得、自主性の育成、リーダーシップの育成、達成感による自己実現や自尊感情の醸成を図ります。 6 健康で活気のある生活を目指し、望ましい食習慣を身に付け、自己管理能力を育て、さらに生涯にわたって健やかな生活を送るための体力を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、次の資質や能力の育成を目指します。 1 深い思考と豊かな創造力を基盤に、社会に貢献しようとするができる。 2 自己の能力を磨き、卒業後も学び続けることができる。 3 異文化や異領域への共感と理解を深め、自己の見解を論理的に主張することにより、社会で活躍できる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	健康的な生活習慣の向上	朝食摂取率95%以上
	体力の向上	スポーツテストの結果が前年度より向上した生徒が70%以上
	健康への意識の向上	生活習慣についてのアンケート調査前年度比3%向上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上
	学習意欲の向上	学習意欲に関する項目80%以上
	オンライン教育への対応	教員の情報活用能力80%向上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	課題研究(インターンシップ)における出席率の向上	課題研究(インターンシップ)出席率95%以上
	山添村企業説明会参加事業所の拡充	参加事業所4社以上
	キャリア教育(労働意欲の向上とマナー習得)の推進	外部講師による講演会の年度2回の開催
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会の年度4回の開催
	通学路清掃(クリーン活動)の自主的な参加	自主的に参加する生徒が全生徒の10%以上
	地域と連携した交通安全等の催しの実施	生徒会が主となって年度3回の開催
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習資料の活用	「なかまとともに」を活用したLHRを学期に1回実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進(卒業までのいじめ全件追跡、いじめを発見した場合適切に介入すると答えた生徒の割合80%以上)
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の实效性ある活用	学期に2回、対象となる生徒の状況を組織的に確認

奈良県立高田高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「自強・和歌・創造」の校訓のもと、生徒各自が道路実現を果たし、地域社会を創生・牽引する人材や、教員として奈良県教育を支える人材の育成を目指します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 ・向上心や探究心、知的好奇心があり、何事にも挑戦できる生徒 ・将来の目標に向けて、学習や部活動に取り組む意欲をもつ生徒 ・ルールやマナーを遵守し、互いに尊重しながら他者と協力することのできる生徒 ・地域や社会に関心をもち、地域社会の課題解決に取り組む意欲をもつ生徒 ・教員を志し、教育について自ら考え、学ぶ意欲をもつ生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身の育成を目指すとともに、人間関係構築力や社会参加意欲を養うために以下の教育を行います。 <b>探 究</b> ・体験学習や発表の場を増やし、「総合的な探究の時間」を充実させます。 ・協働的な学びによって、コミュニケーション能力や情報発信能力を育成します。 ・教科の枠にとらわれない横断的な学習を通して、主体的、創造的に取り組む態度を育成します。 <b>確かな学力</b> ・タブレット端末や電子機器等を有効に活用し、主体的、対話的な授業を実施します。 ・ポートフォリオの活用により、客観的な自己評価を行い、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出します。 ・多様な進路実現を図るため、通常の授業に加え、実力養成講座を充実させるとともに、外部講師を招へいし、講演会や説明会を実施します。 <b>協 働</b> ・部活動や課外活動に、積極的に取り組むことのできる環境を作ります。 ・人権意識を高める活動を行い、多様性の尊重される学校づくりを実践します。 ・生徒会活動や委員会活動を中心に、生徒主体の学校行事を進めます。 <b>社会貢献</b> ・学校行事を通して、他者との関わりの中で、自己有用感を育成します。 ・ボランティア活動等を通して、主体的に社会に参画する意識を高め、社会貢献の精神を育成します。 ・地域振興団体との交流を深め、積極的に各種行事に参加する機会を設けます。 <b>教育アンビシャスコース</b> ・市内の小中学校等と連携し、小学校体験実習を実施します。 ・ディベートや集団討論を通して、教員として必要なコミュニケーション能力を高めます。 ・遠隔大学等から講師を招へいし、教育について専門的学びを深めます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、以下の資質・能力を身に付けた生徒に卒業を認定します。 ・探究心をもって課題を設定し、それを解決し論理的に表現することができる。(⇒探究) ・身に付けた幅広い知識と確かな学力を卒業後も生かし、自己の将来を開拓・実現できる。(⇒確かな学力) ・他者を尊重し、社会の中核を担う存在として多様な人々と協働することができる。(⇒協働) ・社会の一員としての自覚をもち、地域の人々に愛され、郷土の発展に貢献できる。(⇒社会貢献)

2 奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはくぐむ	生徒の体力向上	新体力テストの総合判定A評価が、全体の15%以上。
	授業や体育活動における生徒の主体的な取組(企画・運営等)	授業アンケートで「意欲的に取り組んでいる」(スポーツが好き)と肯定的に回答する生徒85%以上。
	自己肯定感の醸成	「こころと生活等に関するアンケート」の肯定的な回答が80%以上。
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはくぐむ	授業改善による主体的・対話的授業の向上	学校改善アンケートで「学力向上を図るため、適切な授業を行っているか」の質問に対し、肯定的な回答が85%以上。
	学習に対する興味・関心の醸成	高次教育連携大学の講師による出張講義内容に関する生徒アンケートにおいて、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上。
	ICT教育の推進	各科目の授業における各学期ごとのICT機器の活用率100%。
3. 働く意欲と働く力をはくぐむ	未来の夢と進路目標の設定	3学期末における生徒の進路目標が「未定」である生徒の割合を、1年生で10%以下、2年生で5%以下。
	教員を目指す生徒の実習への参加	教育アンビシャスコースの小中学校実習の生徒満足度85%以上。
	オープンキャンパスやインターンシップへの参加	夏休休業中の進路課題としてオープンキャンパスやインターンシップへの参加を促し、報告書で肯定的に回答する生徒の割合を85%以上。
	キャリア教育に向けた啓発活動の促進	生徒(進路委員)が作成する、進路ニュースレター『進路のすゝめ』を年3回発行。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	生徒会や部活動等による、地元の小・中学校、公共機関やNPO法人等との連携	生徒が主体的に参画・運営する各連携事業や行事を年間8回以上計画。
	コミュニティスクールの運営の充実	年間3回の学校運営協議会の開催。
	郷土理解を深める学習への取組	「総合的な探究の時間」および「奈良TIME」の取組をとって、生徒の地域理解や郷土愛が「深まった」という回答率80%以上。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	生徒による人権意識啓発の取組	生徒が作成する人権啓発『ニュースレター』を年間6回発行。
	生徒の人権意識高揚に向けた取組	年度末アンケートで「社会の様々な差別について、それをなくす行動を積極的にしていこうと思う。」と回答する生徒の割合を85%以上。
	いじめのない学校づくり	いじめアンケートで「いじめられている」の回答に対する解消率85%以上。

奈良県立郡山高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
本校の使命 (スクール・ミッション)	長い伝統の中で培われた文武両道の精神を基礎に、社会に有為な人材を育成します。	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 集団の中において自らの役割を理解し、自ら考え積極的に貢献しようとする生徒 2 基礎的学力を身につけた上で、課題を解決できる力を伸ばそうとする意欲のある生徒 3 部活動や学校行事などに参加し、自らの人間力を高めようとする生徒 4 自己尊重の精神を持ち、人を大切にしようとする意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、新しい時代を切り開く資質・能力を育成するために、確かな知識理解力や思考力を身につけ自ら考えることのできる確かな学力と豊かな心情や健やかな身体を育成することを目指し、以下の方針を示します。 1 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく培い、進路実現につなげることに注力する。 2 新しく構築した総合的な探究の時間を軸に、各教科にわたり応用力を磨く。 3 学校行事や地域活動への参加を活発にし、集団としての行動力やコミュニケーション力を身に付ける。 4 部活動を通して人間力を高める活動を大切にします。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 卒業後も向上心を絶やさず、自ら学び続けることができる。 2 自分を大切に、人を思いやり、集団の構成員としての役割を果たそうとする心情を確固とする。 3 新しい時代を切り開こうとする気概を持ち、有為な人材として社会に積極的に参加しようとする意思を持つ。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基本的生活習慣の確認	挨拶自己達成率90%以上
	部活動の充実	1・2年生3学期の加入率90%以上かつ入部者の満足度80%以上
	学校行事に関わる意欲向上	実態調査で「意欲的に取り組めた」とする生徒80%以上
	基礎体力の向上	体カテスト2, 3年平均Tスコア50以上
	読書意欲の向上	生徒実態調査、ビブリオバトル後アンケートで関心の高まり75%以上
	基本的生活習慣の確立	美化活動への積極性を育む。実態調査で、「清掃にすすんで取り組んでいる」と答えた生徒の割合が、55%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	学習意欲の向上	授業アンケート質問項目「学ぶことへの意欲が高まる」回答スコア3.0以上 それぞれの進路行事についてアンケート満足度90%以上を目標とする。
	探究的取組に向けての授業改善	授業アンケート質問項目「生徒の主体的な活動ができる。」回答スコア3.0以上
	ICTを活用した教育活動	ICT機器を活用した授業を50%以上実施している教員 全教員
	進学率の向上	現役生徒の大学進学率90%以上を目標とする。
	探究活動資料の充実	探究活動資料の図書館での利用率が前年度比増
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の充実	アンケート満足度95%以上を目標とする。
	アカデミックインターンシップへの参加	参加生徒数の前年度比増
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	「奈良タイム」の効果的活用	プレゼンテーション後のアンケート 満足度70%以上
	地域行事への参加	参加行事数及び参加生徒数の前年度比増
	学校運営協議会の効果的運営	学校運営協議会の開催 年2回以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校と家庭・地域をつなぐ情報発信の向上	情報発信の方法の強化と、発信する内容の充実
	人権教育学習の充実	HRIにおける時間数の確保と理解度の向上
	特別な支援や配慮を要する生徒への対応力強化	SCとの連携強化や個別の支援計画などの作成
	グローバルな視点・経験の育成	本校短期留学・エンバワメントプログラム参加者アンケート満足度85%以上
	生徒の学習環境を整える	予定されている工事において、生徒学習環境への影響をなるべく少なくし工事が工期どおりに進むよう調整を行う。

奈良県立大和中央高等学校(定時制課程) 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>生徒の「個別最適な学び」や「学び直し」等に対する支援</li> </ul>
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校定時制課程では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育方針や教育内容を理解し、目標に向け自らの意志で学ぼうとする意欲をもつ生徒。</li> <li>自分の生活リズムや職業等に合わせて学び、高等学校卒業を目指す生徒。</li> <li>基本的な生活習慣、基礎的・基本的な学力、規範意識等、社会で必要な力を身に付けたいと願う生徒。</li> <li>新たな学校生活の中で自分を見つめ、新しい自分の発見や成長を目指す生徒。</li> <li>多様な価値観や一人ひとりの違いを認めつつ、仲間と共に高め合いたいと願う生徒。</li> </ul>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校定時制課程では、「自律」「敬愛」「進取」の校訓のもと、以下のような教育活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単位制の特徴を生かし、生徒が自らに適した教科・科目を積極的に選択できる教育課程を編成する。</li> <li>基礎的・基本的な学力の充実や社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力の習得を目指した学校設定科目を設定する。</li> <li>共通科目に加え、高業科・家庭科等において、生徒の資格・検定等の取得につながる専門科目を設定する。</li> <li>高等学校卒業程度認定試験や各種検定等で取得した単位を卒業単位として認定するなど生徒の積極的な学びを評価し、3年修業による卒業の選択も可能とする。</li> <li>定期的なスクリーニング等によるきめ細かい生徒理解に努め、SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクールソーシャルワーカー)や関係機関等と連携した支援を推進する。</li> <li>多様な生徒の学びを保証するため、UDL(学びのユニバーサルデザイン)を意識した授業づくりに取り組む。</li> <li>生徒の学習上・生活上の困難等の改善・克服を図るため、「通級による指導」を実施する。</li> <li>HRや総合的な探究の時間、部活動等を通して、生徒の社会性や人権意識の醸成、自己管理能力や望ましい勤労観等の獲得、進路実現等を支援する。</li> <li>BYODの活用等、ICTを活用した教育活動の充実を図る。</li> </ul>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校定時制課程では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主自立の精神をもって自分がなすべきことを適切に判断し、行動できる。</li> <li>情操豊かな心をもって、自他の人格を尊重できる。</li> <li>自ら進んで目標を定め、その達成に向け真剣に努力し、未来を切り開いていけるたくましさをもつ。</li> </ul>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	自己肯定感の醸成	ボランティア活動関連学校行事を毎期実施
	他者への寛容なこころの育成	幼稚園・老人ホーム等への訪問を毎年実施
	望ましい食習慣の確立	「食生活レター」を毎月発行
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	わかる授業の創出	UDLに関する職員研修を毎期実施
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケート「自分はこの授業に熱心に取り組んだ」の肯定的回答70%以上
	ICT教育の推進	令和4年度以降の入学生の全授業でBYOD端末活用
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	産業界との連携の推進	企業等を招いての「進路ガイダンス」を毎年実施
	職業体験の充実	全ての学校求人による就職希望生徒75%以上に職場体験または職場見学を実施
	学び直し(リカレント教育)の機会提供	学び直しに関する積極的な広報活動
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会を毎年2回以上開催
	地域における多様な体験活動機会の創出	「集中総合講座」を毎年実施
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習成果の蓄積
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	生徒理解に基づく生徒支援の充実	全生徒対象のスクリーニングアンケート及び全教員での生徒理解研修を毎期実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	生徒が回答しやすくするために、設問を変えたいじめアンケートを毎期実施
	通級指導の推進	通級指導対象全生徒について個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成

奈良県立大和中央高等学校(通信制課程) 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>生徒の「学び直し」や不登校生徒等に対する支援</li> </ul>
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校通信制課程では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「高校を卒業したい」という強い意志を持ち、真実に学校生活を送ることができる生徒。</li> <li>通信制で学ぶ基本となる「時間の管理」ができる生徒。</li> <li>卒業後の進路目標や目的意識を明確に持ち、「自学自習」ができる生徒。</li> <li>自己を高め、個性を大切に、一人ひとりの違いを認められる生徒を。</li> <li>何事にも、こつこつと粘り強く取り組むことができる生徒。</li> <li>基礎学力が身に付いており、さらに学力を伸ばそうとする意欲ある生徒。</li> </ol>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校通信制課程では、「自律」「敬愛」「進取」の校訓のもと、以下のような教育活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自学自習がスムーズに行えるように、スクーリング(面接指導)で、学習の方法を丁寧に指導します。</li> <li>学校設定科目「数学入門」、「英語入門」では、基礎学力の定着を図ります。</li> <li>総合的な探究の時間「つどい」では、学習意欲、自尊感情、勤労観、自己表現力等の向上を図ります。</li> <li>日曜コースと平日コースを設け、自分のライフスタイルに応じた学びを設定できます。また、3年間での卒業も可能です。</li> <li>個別の「自学自習」を支援するために、毎週1回、生徒相談日を設けています。</li> <li>自学自習に適したレポートを作成し、丁寧な添削指導を行います。</li> <li>「生徒交流会」や「夏の風物詩」などの学校行事を、特別活動として認定しています。</li> <li>郷土を愛する心を育むことを目的とした、「生活文化の伝承」や「奈良TIME」では、探究心を高めると共に地域と密接に連携した教育活動を行います。</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校通信制課程では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>社会的自立に必要な生きる力、基礎的な学力、勤労観。</li> <li>自尊感情を高め、互いの人権を尊重し、命を大切にする心と行動力。</li> <li>意欲的に学びに向かう力と、粘り強く目標に向かって努力する態度。</li> <li>自ら考え判断し、計画的に行動できる力や自己管理能力。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	生徒と教員の望ましい人間関係の構築	毎週1回の教育相談日の有効な活用
	食育の推進	年に2回「すこやか通信」を発行し、生徒の意識向上
	不登校等の様々な問題を抱える生徒への支援	SCやSSWとの連携強化のため、職員研修を年に1回以上実施
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けたスクーリング	生徒にとって週1回のスクーリングの指導内容の充実。規定回数出席する生徒数の増加
	学習意欲の向上	意欲的に自宅で自学自習に取り組むことができるレポート作成の研究
	ICT教育の推進	ICTを活用した学習方法の研究
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	社会的自立に向けて、職業観の育成	就職希望生徒の80パーセント以上に対する職場見学等を実施
	産業界との連携の推進	外部講師を招いた進路講演会等を年に複数回実施
	キャリア教育の推進	総合的な探究の時間「つどい」の学習成果の蓄積。授業アンケート「自分はこの授業に熱心に取り組んだ」の肯定的回答80%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会を年に複数回実施
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「生活文化の伝承」や「奈良TIME」の学習成果の蓄積。授業アンケート「自分はこの授業に熱心に取り組んだ」の肯定的回答80%以上
	地域に根ざした生徒会活動の充実	地域での清掃活動や「順慶まつり」等の活動へ年に3回参加
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習の充実	年に複数回、人権講演会等を実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	生徒が回答しやすくなるために、設問を変えたいじめアンケートを学期ごとに実施
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の有効活用	学期ごとに対象となる生徒の状況を全教員で確認



奈良県立添上高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
本校の使命(スクールミッション)	自立した社会人(社会に役立つ仕事ができる[社会貢献, 社会奉仕]・仲間と共に働くことができる[協働]・心身が鍛えられた人材[健康な心身])の育成。	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者受入に関する方針 (アドミッション・ポリシー)	添上高校は、明るい笑い声と元気な挨拶が校舎に響き渡る活気溢れた学校で、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 様々な活動を通して、自分の夢を見つけ、互いの夢について語り合い、励まし合って、夢の実現に向けて、日々共に成長できる生徒。 『誠・力・愛』の校訓のもと、 誠…『言葉と心が一致している状態』、『素直で真面目な心』、『誠実・誠意』 力…『自分の力の限り努力すること』、『力を尽くすこと(尽力)』 愛…『人を受容すること』、『いつくしむ、敬う、大切にすること』 添上高校の伝統を継承し、自らの夢の実現に向け、仲間と共に成長できる高校生活を送ってみませんか。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	○ 確かな学力の育成 …授業の質を高め、生徒一人一人に応じた指導方法や評価方法を導入する。 ○ けじめある生活の確立…基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識の向上や遵守する姿勢を醸成する。 ○ 進路希望の実現 …進路補習の充実や効果的な模試の活用により、3年間を見据えたキャリア教育を行い、進路実現を図る。 ○ 特色ある学校づくり …部活動の活性化やスポーツを通じた地域貢献、ICTの活用による学力伸長などを進める。 【各科・コースの特長】 〈普通科〉 : 1年次に基礎学力の定着・向上を目指し、2年次以降、文型(幅広く学習し様々な進路に対応)・文理型(進学に重点)を選択。 〈普通科人文探究コース〉: 動画による学習と授業での探究的な活動により思考力・判断力・表現力を身に付ける。学外実習で実践的な力を育成。 〈スポーツサイエンス科〉 : トップアスリート、体育指導者の育成をめざし、指定クラブで継続的な活動と水泳・スキー・野外実習で実践力を育成。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	未来に「夢と志」をもち、その実現に向けて勇気と剛直な精神で挑む、活力と自信に満ちた生徒を育成する。 〈目指す生徒の具体像〉 1 礼節を重んじ、人間性豊かな「くじけない、諦めない」生徒 2 自ら考え、積極的に仲間と協働することにより、自信と誇りをもつ生徒 3 自己の目標を確立し、達成のための努力を怠らない生徒

〈具体的目標〉	項目	目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせて育む	健康教育の充実	健康診断後の受診率や治療率の向上(80%以上)。 保健室来室者数の減少(前年度比マイナス20%)。
	食育の推進	健康な食生活に関するアンケートで、肯定的な回答が90%以上。
	体力の向上と運動習慣の定着	スポーツテストにおいてA判定の生徒55科で100%、普通科で30%以上を目指す。 体力測定補助や部活動における校種間連携の実施(総数50回以上)。
2. 学ぶ力、考える力、探究する力を育む	主体的・対話的で深い学びの実現	生徒の授業への取り組みに関するアンケートで、肯定的な回答が60%以上の教員が半数以上。 生徒や保護者の授業に関する満足度に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 評価の観点を意識した課題や発問について、教科間で授業スキルの研修と共有を行う。
	教職員の資質向上	3年間ですべての教員が研究授業を行い、授業スキルのアップと共有に努める。 70%以上の教員が教育研究所等が主催する研修会等を受講し、スキルアップに努める。
	魅力と活力あるこれからの高校づくり	奈良県のスポーツ拠点校としての役割を果たす。 各競技団体等と連携した練習会や研修会の開催(年間50回以上)。 科やコースにおける特色ある教育活動に関するアンケートで肯定的な意見が80%以上。 生徒の可能性を上げ、自己肯定感を高めるために部活動加入率が90%以上とする。 スポーツサイエンス科におけるコロナ禍での実習内容や実施方法について検討し、可能な限りの感染対策を講じ、安全・安心な実習を実施する。 人文探究コースにおけるICTを活用した反転授業や英語4技能の育成など、新しい学びのスタイルを提唱する。
	ICTを活用した教育の推進	ICTの活用による授業満足度に関するアンケートで肯定的な回答が70%以上の教員が半数以上。
	学校における働き方改革	各教職員で定時退校日を設定し、週1日以上定時退校を行う。 教職員のストレスチェックにおける[総合健康リスク]の80以下を目指す。
	安全安心な教育環境の整備	毎月の安全点検により、発見された異状箇所の速やかな修復を目指す。 人間関係(いじめ、友達関係)や教室環境に関するアンケートで肯定的な意見が90%以上。
	キャリア教育・職業教育の推進	進路に関する情報提供に関するアンケートで肯定的な意見が80%以上。 進路HRを活用してキャリアパスポートを使った効果的なキャリアデザインを指導する。 インターンシップ(アカデミック・インターンシップを含む)の参加率30%以上。
3. 働く意欲と働く力を育む	社会に役立つ実学教育の推進	進路実現を目指した活動に関するアンケートで肯定的な意見が80%以上。 定期的な模試の活用と振り返りにより学力の向上を目指す。
	地域との連携・協働推進	学校運営協議会と連携した教育活動の実践。 天理市の幼稚園・小学校・中学校との連携事業の推進。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域社会に貢献する人材の育成	ボランティア活動や清掃活動などに関するアンケートで肯定的な意見が70%以上。
	グローバル人材の育成	海外留学や国際交流を促進するための機会の提供を行う。
	社会教育の推進	社会体育に関する研修会や講習会を年間10回以上開催する。
5. 地域で個性が輝く仕組みをつくる	学校教育における人権教育の推進	新しい「人権教育推進プラン」に沿った人権教育の推進。 いじめや人権に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。
	いじめ・不登校等への対策	「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組の徹底。 年間2回以上の「いじめアンケート」を行い、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 友人関係や相談できる相手に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。
	特別支援教育の推進	SCを有効活用し、生徒の悩み解消に対応する。 週1回の教育相談部会、月1回の教育相談委員会により支援や配慮を必要とする生徒の情報を共有し、個別の支援計画や個別の指導計画を作成する。
	多文化共生教育の推進	多文化への理解を促すHRを行う。

奈良県立二階堂高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		将来のなりたい自分を実現させるため、主体的にキャリアデザインに取り組む人材を育成します。また、地域を題材としながら、社会人基礎力を高め、社会に貢献する人材を育成します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校のスクールポリシーを理解し、その実現に向けて意欲的に学ぶ人を受け入れます。 1 将来の夢をもち、自身の判断と責任において未来を切り拓こうとする人《自己理解》 2 様々なことに関心をもち、主体的に学習に取り組む人《自己理解・学校理解》 3 自らの能力を向上させるため、意欲的に課外活動(部活動・資格取得講座・進路セミナー・インターンシップ等)に取り組む人《学校理解》 4 社会の一員として自覚ある行動をとり、地域社会に貢献したいと考えている人《社会人基礎力》
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	自分のキャリアデザインを実現させるため、社会人基礎力を身に付けさせます。主体的に知識・思考力・判断力・表現力を身に付けさせるとともに、多様な人々と協働するためにコミュニケーション能力を向上させます。また、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けての探究活動を通して、本校での学びが卒業後にどう生かされるのかを理解させます。 1 既存の科目にとらわれない多彩な学校設定科目を設定し、生徒一人一人の進路希望に応じて必要な科目選択ができるようにします。 2 主体的に物事に進んで取り組むことができるようインターンシップをはじめ、数々のキャリアプログラムを提供し、学びに向かう力を育てます。 3 自分の考えを適切に表現し、論理的思考力を身に付けるために、プレゼンテーション、ディスカッションを取り入れた対話的で深い学びを展開します。 4 課題に対し、収集した情報を整理・分析するとともに、知識を活用して論理的に考察し、それらを総合して問題解決を図る意志と能力を身に付けます。 5 探究活動を通して、地域社会の課題発見や解決に向けて、多様な人々と協働して取り組む力を育てます。 6 教育活動において、自身の立場・役割を理解し、規律ある学校生活の中で、目的意識をもって行動できるよう育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を身に付けている。 2 広い視野をもって、人生100年時代に向けてのライフプランを持っている。 3 コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重することができる。 4 課題を発見し、自ら解決しようと取り組むことができる。 5 情報を活用し、幅広い視点で物事を考え、状況に応じて柔軟に対応することができる。 6 自己の能力・資質を社会生活で活用し、社会の持続的な発展に貢献することができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい運動習慣の確立	授業以外で週に1時間以上の運動時間が確保できている生徒60%以上
	運動能力の向上	新体力テスト全国平均を上回る種目が4種目以上
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率80%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	学習意欲の向上と自立した主体的な学びの実現	各種検定合格者70%以上
	SDGsを念頭に置いた地域社会に関する探究活動の実践	対話的で深い学びと協働による探究活動の実践
	教職員の授業力向上ならびにキャリアアップ	Off-JTによる研修参加率80%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	学校設定科目「産業社会と人間」を充実させる	自己理解・インターンシップを実践した上での職業理解に基づくライフプランの作成
	多彩なキャリアプログラムの提供	就職内定者研修の実施等により、1年以内の離職率6%以下
	キャリアコンサルティングの充実	1年時よりキャリアに関する面談を生徒1人あたり年間6回以上実施
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進	学校運営協議会の年3回以上開催
	地域と協働した探究的な学びと地域創生	地域にのっての魅力化を図り、地域でのアンケートにおいて満足度80%以上
	地域の教育力(資源)の活用	地域事業所・人材を全学年・全学期で複数回活用する
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	誰も取り残さない取組の実践するため、生徒情報の共有化等の組織的体制づくりを完成させる
	インクルーシブ教育の推進	高等養護学校分教室との日常的交流と合同行事の定期的開催
	人権教育学習資料の活用	「なかまとともに」を活用したLHRの実施

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「 <b>橿高リベラルアーツ教育</b> 」 多分野にわたる教科学習や学校行事、部活動など、すべての教育活動を互いに関連付けて実施することで、物事を多角的に見る力と多様性を理解する力を磨き、自ら課題を発見し、それを主体的かつ協働的に解決する能力を身に付けたより良い未来の社会の担い手を育てます。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 何事に対しても分け隔てなく、好奇心と探究心をもって取り組み、自らの可能性を広げるために努力する生徒 3 常に高い目標をもち、失敗を恐れず何事にも全力で挑戦し、自己実現を目指す生徒 4 多様な生き方・考え方を尊重し、節度をもって行動する生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、教職員と生徒が一体となって信頼と愛情に満ちた明るい学園をつくり、心身ともにたくましく心豊かな若人を育てるため、以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味関心に幅広く対応できるカリキュラムを編成します。 2 校内外における生徒の様々な活動とおして多種多様な集団と協働する力と豊かな人間性を育成します。 3 課題探求型の学習活動を推進し、主体的で論理的な思考力を養い、自己実現に向けて不断の努力を積み重ねることが出来る生徒を育みます。 4 特色ある学校行事や課外活動などを設定し、生徒のグローバルマインドセットを養い、国際社会に対応できる能力を涵養します。 5 地域との連携と協働を推進し、生徒のものの見方・感じ方・考え方を豊かにするとともに、自己の有用性を自覚させ、生き生きと活動する態度や前向きに思考する姿勢を醸成します。 6 ゲストティーチャーを招聘し、生徒が本物の生きた体験を学ぶことで、社会で働くことの意義について深く考える機会を提供します。 7 教員は、生徒の深い学びを支えるため、常により良い授業を目指し日々改善を重ね、幅広い知識と教養を身に付けます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 自己の可能性を最大限に広げるために、何事に対しても主体性をもって挑戦し、粘り強く取り組むことができる。 2 社会の急速な変化に対応しながら、様々な事物に興味・関心をもち、真理の探究に向け学び続けることができる。 3 多様性を認め、他者との協働を重んじ、自ら課題を見いだしその解決に向けて力を尽くすことができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	食育の推進	朝食摂取率90%以上
	運動習慣の確立と体力の向上	スポーツテストスコア49.0以上
	挑戦心と自律心の向上	文化祭や文化鑑賞会等の文化行事、体育大会や球技大会等の体育行事へ積極的に取り組むことができた生徒がそれぞれ90%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	読書習慣の確立	1年間の読書書籍数が12冊以上の生徒が70%以上
	自学自習の促進	平日、1時間以上自宅学習する生徒が90%以上
	課題探求型学習活動の推進	興味をもって積極的に授業に取り組むことができた生徒60%以上
	指導と評価の一体化を進めることによる授業改善	すべての教科において単元テストを月1回以上実施し、その都度教科会議をもち分析と検証を行う。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	キャリアパスポートを効果的に活用する。インターンシップ等職業体験学習を推進する。
	高大連携の推進	オープンキャンパスやe-オープンスクール、アカデミックインターンシップに全員1回以上参加する。橿高大学(校内大学模擬授業体験)の充実を図る。
	美化活動に積極的に取り組む生徒の育成	校内美化に積極的に取り組む生徒の割合が70%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティースクールの運営	学校運営協議会の年度2回の開催
	国際理解教育の推進・グローバルマインドの育成	全生徒が在学中に国際理解に関わる取り組みに参加する。
	地域社会を支えるリーダーの育成	地域と関わる生徒会活動を年間5回以上行う。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	地域防災への主体的な取組	地域防災についての理解度の向上
	多様性の尊重	人権問題解決に前向きな生徒の割合が75%以上
	望ましい人間関係の構築・共生	全生徒が在学中に地域へのボランティア活動に参加する。

奈良県立畷傍高等学校 中期計画(全日制課程)

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		知・徳・体の調和がとれ、自律的・創造的でグローバルな視野をもった、次代を切り拓くリーダーの育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解し、自らを鍛える意欲のある生徒 2 基礎的な学力が身につけており、学ぶ意欲の高い生徒 3 自ら学び、自ら考え、自ら行動しようとする姿勢を備えた生徒 4 人間尊重の精神をもち、自らの使命を理解して社会に貢献する意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、本校の使命(スクール・ミッション)を実現するため、以下のとおり教育課程を編成・実施します。 1 生徒が自らの興味や関心、個性に応じた学びを実現することが可能なカリキュラムを編成します。 2 生徒が物事を俯瞰し多角的に考える習慣や、論理的な思考力を身につけられるよう、探究的な学びを中核とした学校設定科目を開設し、未来志向の教育活動を展開します。 3 生徒が社会のグローバル化の進展に対応できるよう、語学力やプレゼンテーション力等を養う教育プログラムを実施します。 4 開かれた学校として、外部の有識者や研究機関、企業等の協力を得、実社会の課題に即した教育プログラムを実施します。 5 生徒が生涯にわたって健やかな生活を送れるよう、自らの健康・安全を保持する知識・技能や体力を育成します。 6 生徒が協働・自治の精神や規範意識を身につけられるよう、自ら学校行事等の諸活動を企画・運営する機会を創出します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、校訓である「至誠、至善、堅忍、力行」の精神を涵養し、以下の資質・能力を身につけた生徒を育成します。 1 心の誠実さ、人としての善良さを、何ものにもまして大切にすることができる。 2 探究心をもち、目標が達成されることを信じて挑戦し、粘り強く努力し続けることができる。 3 グローバルな視野をもち、自らの社会的使命・役割を理解して積極的に行動することができる。 4 高い教養、深い思考、豊かな想像力を身につけ、新しい社会を切り拓こうとする気概をもつ。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	生徒の健康課題(メンタルヘルス)を踏まえた健康教育の充実	保健だより及び電子掲示板を活用したスクールカウンセリングの紹介と啓発 月1回以上
	こころの充実と体力・運動能力の向上	体力テストにおける総合評価 全園平均以上
	望ましい生活習慣の確立	睡眠時間6時間未満の人数の減少
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	各教科での探究型学習の充実	生徒の授業評価での満足度 平均80%以上 エンパワーメントプログラム等への参加者30人以上
	ICTを活用した教育の推進	授業やHRにおけるICT活用率 70%以上 教員の情報活用能力80%以上
	新教科「グローバル探究」の研究・推進	課題研究についての生徒の満足度 70%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	探究型学習の発展型としての生徒のキャリア意識の醸成	共通テスト平均得点率 70%以上 第1志望を貫く生徒の増加
	企業人や学識経験者による出前講義の充実	出前講義 年10回以上
	キャリア教育の充実	インターンシップ、アカデミック・インターンシップへの参加者20人以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティスクールの運営	学校運営協議会の開催 年3回
	海外留学や国際交流の促進	海外への留学生(短期も含め) 10人以上
	地域との協働や連携の充実	部活動・家庭クラブを中心とした地域連携活動 年5回以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の充実	人権を確かめあう日の取組 年10回
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	基本方針の点検・見直し 年1回以上
	教育相談及び特別支援教育の充実	教育相談や特別支援教育に関する職員研修会の開催 年2回

奈良県立畝傍高等学校 中期計画(定時制課程)

【高等学校用】

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	多様な学びのニーズに応え、自立した社会人を育成します	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本課程では、以下のような生徒を受け入れます。 1 就労と学習の両立を望む生徒 2 学び直しを望む生徒 3 基礎学力の習得と向上を目指す生徒 4 社会的・職業的自立を果たすための自己研鑽を望む生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本課程では、本課程の使命(スクール・ミッション)を実現するため、以下のとおり教育課程を編成・実施します。 1 基礎学力の定着と向上を図るカリキュラムを編成します。 2 在学3年での卒業(三修制)を可能とするカリキュラムを編成します。 3 生徒個々に応じた適切な指導を行います。 4 社会生活に必要な自立・自律心を育成します。 5 望ましい就労生活を送るためのキャリア教育を行います。 6 自他の敬愛と尊重の態度を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、校訓である「至誠、至善、堅忍、力行」の精神を涵養し、以下の資質・能力を身につけた生徒を育成します。 1 心の誠実さ、人としての善良さを、何ものにもまして大切にすることができる。 2 目標が達成されることを信じて、粘り強く努力し続けることができる。 3 社会人としての自覚と望ましい勤労観、自律心、生活習慣をもつ。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を生徒の成長に合わせてはぐくむ	望ましい生活習慣の確立	生活習慣に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答75%以上
	生徒の自己有用感の向上	自己有用感に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 70%以上
	基本的生活習慣・規範意識醸成指導の充実	規範意識醸成に関する「生活アンケート」項目の肯定的回答 90%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	学習意欲の向上	学習意欲に関する「授業アンケート」項目の肯定的回答 70%以上
	学力の習得と向上	授業内容の理解に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 75%以上
	コミュニケーション能力の向上	コミュニケーションスキルアップを図るホームルームや講演会の開催 年2回
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	進路ホームルーム年3回、進路講演会の開催 年2回
	進路情報提供の充実	学校からの進路情報提供に対する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 70%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会の開催 年3回
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	奈良県の地場産業に関する「奈良TIME」の学習活動の実施 年2回
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	いじめのない学級・学校づくりに対する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 100%
	人権教育の推進	人権意識の向上に対する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 100%

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		変化の激しい社会をたくましく生き抜き、地域経済の発展に貢献・活躍できる商業人材の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 基本的な生活習慣を身につけ、社会に対応できる資質・能力・ビジネスマナーを身につけようと努力する生徒 2 商業に関する学習に興味・関心があり、各種資格・検定の取得に意欲的に取り組む生徒 3 自らの目標を立て、目標達成のための手立てや方法を考え、やりきることができる生徒 4 中学校において、学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に取り組み、本校入学後も継続して取り組む意思のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、4つの科それぞれの特色を生かした専門教育により、商業のスペシャリストとしての人材育成に取り組み、その実現のために以下の教育を行います。 1 未知の状況にも適切に対応できる思考力・判断力・表現力等を教育活動全体で育めるようにするため、基礎学力の定着と主体的で探究的な学びにつながる授業 2 専門知識・技能を活用した実践力を身に付けるために、販売実習や課題研究などを通して、地域と連携した学び、地域と協働した学び 3 ICT機器の活用を推進し、時代の変化や社会の変化に対応する教育 4 生徒の興味・関心のある研究や学習を行うことで、将来社会で活躍するために必要なビジネススキルであるコミュニケーション能力や企画力、創造力を身に付けること
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、ビジネス教育を通して、以下の資質・能力を育成します。 1 豊かな人間性・社会性と、社会の変化に対応できる能力 2 商業に関する専門的知識・技能と問題解決能力を有し、組織や社会において生涯に渡り主体的に行動できること 3 ビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付け、他者と協働できること 4 ビジネス教育を通して、知徳体バランスのとれた力を育むとともに、地域の活性化に貢献すること

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	健康教育の充実	アレルギー疾患対応校内研修の毎年開催
	体力の向上	新体力テスト4種目以上、県平均を上回る
	運動習慣の定着	日常的に運動する生徒の割合を70%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の学びの満足度90%以上
	ICTを活用した教育の推進	ICT活用指導力向上研修を年3回実施
	魅力と活力あるこれからの高校づくり	販売実習「県商マルシェ(仮)」による特色づくり
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ参加率90%以上
	実学教育の推進	学校設定教科「実学」での外部講師登用年3回
	キャリア教育の推進	各学期でのキャリアパスポートの活用
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティスクールの運営	学校運営協議会の令和4年度設置と年3回の実施
	地域活性化のための取組	学校設定教科「実学」で地域課題への取組を発表
	地域社会に貢献する人材の育成	販売実習「ソラホンマチフェスタ」等地元イベントへの参加
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習資料の活用	「なかまとともに」を活用したLHRの実施
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の徹底	いじめの未然防止、早期発見の取組の徹底
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性のある活用	学年主任会、特別支援教育推進委員会の定期的開催

奈良県立桜井高等学校 中期計画

1 スクール・ミッション

本校の使命(スクールミッション)	自由に、その個性に応じて時代感覚をもった学殖豊かな世界人の育成 豊かに自分らしく生きるため、自分を変える「勇気」と自他を受け入れる「愛」を育み、安全・安心な社会の構築に貢献する生徒を育成します。
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 スクール・ポリシー

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
（スクール・ポリシー） 教育方針	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 【全コース共通】 ○ 目指す4つの資質・能力 1 <主体的学習態度・何度でも挑戦する粘り強さ>個性を磨き、自己実現のため何度でも挑戦する姿勢 2 <課題発見提案力・社会文化探究心>社会とつながり、そのなかで課題を発見し、解決を提案する力 3 <コミュニケーション能力・リーダーシップ>身の回りの状況を把握し、他者とつながり、集団を動かす力 4 <他者協働力・他者受容力>他者の気持ちや置かれている立場を想像・理解し、多様性を認め合う態度  これらに加えて、 【英語コース】 多彩な英語学習の機会に触れることによる、英語の実践力・相互理解力・グローバルな思考力 【書芸コース】 書の学習を通して文化と伝統を学ぶことによる、創造性豊かな感性・書道文化の発展に寄与する態度や能力
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、3つのコースの特性を生かしたカリキュラムを編成し、桜井高校でしか行えない「学び方を学び、自分の得意や興味・関心を伸ばす教育」を実施します。 【全コース共通】 ・ 自己管理能力を獲得し、社会で生きる力を養うプログラム・・・ノーチャイム、ポートフォリオ ・ 基礎的学力を養うプログラム・・・オンライン学習 ・ 情報収集を行い活用する力を養うプログラム・・・ICT教育 ・ 安全や健康の管理を実践し、心身の健康を育むプログラム・・・部活動、三輪山走歩大会 ・ コミュニケーション能力・リーダーシップを高めるプログラム ・・・フューチャーセンターの活用、生徒会活動 ・ 多様性を認め合い、人間的魅力を磨くプログラム・・・人権学習会、異文化交流 ・ 集団や社会に貢献する態度を伸ばすプログラム ・・・地域ボランティア、地域連携、社会貢献活動、キャリア教育 ・ 得意分野を発見し、とことん探究するプログラム・・・カリキュラム選択、総合的な探究の時間 ・ 批判的思考力を養い、表現するプログラム・・・アクティブ・ラーニング、プレゼンテーション ・ 将来像(夢)を確立し、自己実現を目指すプログラム・・・キャリアデザインルーム、インターンシップ  これらに加えて、 【英語コース】 英語の実践力・相互理解力・グローバルな思考力を獲得するプログラム ・・・イングリッシュキャンプ、海外修学旅行、高大連携 【書芸コース】 知識・技能と芸術性を獲得するプログラム・・・T・T授業、卒業書作展、海外修学旅行、高大連携
	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、「本校の使命」及び「教育方針」を理解し、その達成を目指す意欲に溢れた生徒を受け入れます。特に、英語コース及び書芸コースにおいては次のような生徒を受け入れます。 【英語コース】 英語への興味・関心が強く、入学後は総合的な語学力や幅広い教養を身に付けたいという姿勢や意欲があり、将来は国際社会で活躍したいと望む生徒 【書芸コース】 日本や中国などの東洋の伝統文化である「書」に興味・関心をもち、入学後は積極的に「書」と向き合い、より深く学びたいという熱意や意欲がある生徒

奈良県立桜井高等学校 奈良県教育振興大綱が示す各テーマごとの実現目標

奈良県教育振興大綱テーマ	実現目標	令和6年度末目標値等
1 ところと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	健康教育の充実	「健康に関する指導が適切」と回答する生徒の割合 85%以上
	望ましい運動習慣の確立	スポーツテストのスコア54ポイント以上の生徒の割合 50%以上
	豊かな教養の獲得	図書館を利用した生徒延べ数 5,000人以上
2 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びによる授業の実施	「授業に対して全般的に満足している」と回答する生徒の割合 85%以上
	主体的学習態度の育成	ノーチャイムで自分から動くことを心がけ実践する生徒の割合 90%以上
	家庭学習習慣の定着	1日平均60分以上自主的な学習をする生徒の割合 75%以上
3 働く意欲と働く力をはぐくむ	自己管理能力の育成	1年生で「1週間の計画を立てられるようになった」と回答する生徒の割合 60%以上
	進路情報の提供の充実	「進路行事等で自分の進路に関する情報を得られた」と回答する生徒の割合 70%以上
	キャリア教育の推進	アカデミック・インターンシップを含めたインターンシップに参加した生徒の割合 25%以上
4 地域と協働して活躍する力を育てる	主体的活動への参加意欲の向上	ボランティア活動に参加する生徒の割合 80%以上
	社会参加活動の推進	様々な活動を通して主体的な社会活動への参加意欲が向上した生徒の割合 70%以上
	社会的マナーの遵守	「日常的に交通ルールやマナーを遵守し実践している」と回答した生徒の割合 95%以上
5 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権意識の向上	「人権や命について学ぶことが多かった」と回答した生徒の割合 90%以上
	環境整備意識の醸成	校内を美しく保つことを意識している生徒の割合 90%以上
	課題解決提案力の育成	フューチャー・センターが役に立っていると感じる生徒の割合 60%以上

奈良県立五條高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解している生徒 2 より発展的な学びを目指し、様々な学びに積極的に取り組む意欲のある生徒 3 資格取得に向けて意欲的に取り組む生徒 4 主体的に考えて行動でき、地域貢献への意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身(知・徳・体)を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成を目指し、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の自己実現に繋がるよう、基礎学力の定着に重視しながら興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 学科やコース、類型の枠を越えて、思考力・判断力・表現力の育成を重視した学校設定科目を開設し、主体的、探究的に学び考える力を培います。 3 教育活動全般を通じて、温もりのあるコミュニケーション能力を育成します。 4 コミュニティ・スクールの趣旨を踏まえ、地域の小・中学校等との連携やボランティア活動などを積極的に回り、地域や社会に貢献する精神を涵養します。 5 海外姉妹校との連携等により、自己理解と異文化理解等を充実させ、グローバルな視点で物事を判断する力を育成します。 6 生徒一人一人の興味・関心に応じた講義を開講し、資格取得などを目指す「本人のための教育」を推進します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 豊かな人間性を基盤に、社会に貢献しようとすることができる。 2 自他敬愛の精神とともに、自らの地域の歴史や文化に対する強い誇りと愛着をもっている。 3 コミュニケーション力を大切に、仲間と協働しながら主体的に課題を解決できる。 4 卒業後も文武両道に努め、自ら学び続けることができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい生活習慣の確立	出席率98.5%以上。
	人権及び命に関する取組を深め、自他を大切に学習の推進	人権や命にかかわる学習を各学年で年間9時間以上。人権問題について考える機会が多いを95%以上。
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率80%以上。
	課外活動の充実	部活動加入率(体育系・文化系)80%以上。
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上。
	学習習慣の確立	毎日家庭学習を行う生徒の割合を80%以上。
	ICTを活用した授業の推進	ICT機器の利用を全授業の80%以上。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ(就職希望者)、アカデミック・インターンシップ(進学希望者)への参加率100%。
	地元産業界等との連携	「出前講義」「職業ガイダンス」等を年間5回以上。
	キャリア教育の推進	「夢プラン」による自己点検を教員が確認し、アドバイスする(毎週)。「進路カルテ」「ポートフォリオ」による到達度チェック等を毎学期1回以上。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールとしての地域貢献	地域の各小・中学校との連携各校3回(共同開催含む)以上。
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」における現地研修等を2回以上。
	グローバルマインドの育成	姉妹校とのオンラインによる交流を年間3回以上(コロナ禍が終息すれば短期留学等も再開)。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進(卒業までのいじめ全件追跡)。
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性ある活用	対象となる生徒の状況を確認(毎学期、全件)。



奈良県立御所実業高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「ものづくりは人づくり・夢づくり」を基本テーマとし、「ものづくり」を通して喜びや達成感を味わい、総合的な人間力を土台にし、さまざまな分野で活躍できる社会人・職業人の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身に付いており、学習に対して前向きな生徒 3 自ら考え、自ら行動できる生徒 4 人間尊重の精神を持ち、社会貢献の意識が高い生徒 5 ものづくりに興味・関心を抱き、専門分野の知識や技能、技術の修得に意欲的な生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では「ものづくり」を通して、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 「資格取得」を目標に、生徒一人一人の学習意欲を喚起し、個に応じた指導により、わかる授業を展開します。 3 実習を通して、職業人として必要な知識や技能を身に付けるとともに、人間力を養い、生きる力を育成します。 4 課題研究により、自ら課題を発見し解決する能力と創造力を養い、プレゼンテーション力を育成します。 5 ルールを守ることで規範意識を構築し、社会人としての資質を習得する態度を養います。 6 部活動、特別活動、自主活動を推進し、健やかな心身と人間力を育みます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 ものづくりを通して得た知識や技能、コミュニケーション力を実社会で活用することができる。 2 他者と協力し、協調性をもって物事に取り組む姿勢が身に付いている。 3 ものづくりに対し、創造力が豊かで、積極的に貢献し学び続けようとする態度ができています。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい運動習慣の確立	体育の授業以外で1日20分以上の運動やスポーツを週に4日以上行う割合 50%
	望ましい食習慣の確立	授業で食育について取り組み朝食摂取率 70%以上
	望ましい読書週間の確立	週に30分以上読書を行う割合 25%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	基礎学力の定着	生徒アンケートのわかりやすい授業指数 85以上
	オンライン教育の推進	授業のためのICT活用能力を高める教員研修 年間2回以上
	資格検定対策講座への参加の推進	資格検定合格率 75%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ参加率 50%以上
	産業界との連携の推進	協力企業との連携事業件数 15件以上
	キャリア教育の推進	キャリアパスポート等を活用したキャリアプランニング能力向上HRの各学年の年間HR時数 15時間以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	コミュニティスクールの開催 年間3回以上
	地域の活性化	生徒会活動等を中心とした地域の伝統行事への参加回数 年間5回以上
	地域の美化	美化委員会活動等を中心とした清掃活動の実施率 年間5回以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の充実	人権教育HR・講演会の各学年の回数 年間5回以上
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	教員のいじめ防止研修の開催 年間2回以上
	個別の教育支援教育や指導計画の実効性ある活用	対象となる生徒の状況を確認し、全教職員で情報を共有する 年間3回以上

奈良県立青翔中学校高等学校 中期計画

【中学校高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		中高一貫6年間を通した理数教育の推進により、地域に貢献するとともに、科学技術創造立国たる日本の未来を牽引するサイエンスイノベーターを創出します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	自然科学の分野で社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下のような生徒を求めます。 1 科学的な現象を探究しようとする意欲をもち、物事を論理的に粘り強く考えるための土台となる数学が好きな生徒 2 将来、科学研究活動を通して社会に役立ちたいと願い、実験・観察や理科に興味・関心をもち、自ら進んで課題の発見や解決に努めようとする生徒 3 基本的なコミュニケーション力を身に付け、仲間と協働できる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	中高一貫6年間を通した理数教育を、以下のように推進します。 1 全校体制での探究的な学びの充実 2 STEAM教育の視点に立った教科等横断的取組 3 SDGsを活用した地域課題を解決するための自治体・企業等との連携 4 中高一貫理数教育の特色を生かした体系的カリキュラムの編成 5 高次の研究を実現させるための国内外の大学等との継続的な連携 6 異学年集団の学びによる科学的リテラシーの習得
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	サイエンスイノベーターとして必要となる、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 課題発見・解決・設定に必要な創造的思考力 2 科学的根拠に基づいた総合的判断力 3 多様な考え方を尊重しチームで協働するコミュニケーション能力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基礎的な体力の向上	各自の体力の向上 スポーツテストのA・B判定が40%以上
	望ましい生活習慣の確立	朝食摂取率が90%以上 睡眠時間6時間以上が80%以上
	自身の健康管理	歯科検診などの治療勧告後の受診率が50%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケートの「授業に学ぶ楽しさを感じますか」という質問について、肯定的な回答が70%以上 生徒の意識調査の「自ら取り組む姿勢(自主性、やる気、挑戦心)」が身に付いたという回答が90%以上
	学習意欲の向上	ジェネリックスキルテストにおける学習意欲に関する項目の得点が10%(令和4年度を基準とする)向上
	探究的な学びの推進による、主体性、独創性の養成	生徒の自主性、独創性が身に付いたという回答が、ともに80%以上
	ICTを活用した授業改善	教員の情報活用指導力の取得が80%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実と産業界との連携	中学校の職場体験および高校のインターンシップ(教育研究所主催等)への参加で「よかった」という回答が80%以上、職場見学や企業の研究開発等に関わる講演会の実施で「よかった」という回答が80%以上
	キャリア教育の推進	社会への参画を見据えた、大学や企業での研修・共同研究の実施 筆記試験だけにたよらない総合型・学校推薦型選抜で進学する生徒の割合を20%以上
	ジェネリックスキルの伸長	リテラシー(情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力)とコンピテンシー(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の上昇した生徒70%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域の課題を発見し、解決する力の養成	生徒の課題発見力、課題解決力が身に付いたという回答がともに80%以上
	海外姉妹校等との協力による、国際性の養成	生徒の国際性が身に付いたという回答が80%以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	発達段階に応じた人権教育の推進	中高6年間を通じ、発達段階に応じた体系的な指導計画やプログラムに基づくLHRや行事を実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	「こころいじめアンケート」の結果に基づいて個別面談が必要な生徒との面談(年間2回以上)の実施 職員間の情報共有の推進
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用	対象となる生徒の状況の全職員による共有と、対象生徒の保護者との個別面談(年間2回以上)の実施

奈良県立生駒高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和5年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		令和4年4月～令和7年3月
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒の入学を待っています。 1 本校のスクールミッションを理解し、その達成に前向きに取り組む生徒 2 基本的な学力が身に付いており、新たな学習に対しても意欲的に取り組む生徒 3 自ら考え、行動する生徒 4 豊かな人間性を身に付け、温もりあふれる人格を養おうとする生徒 5 人間尊重の精神を持ち、すすんで社会貢献しようとする生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、生涯学習の基盤を培う観点に立ち、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成を図ることを基本的なねらいとし、その実現のために以下の方針に基づいた教育を行います。 1 心豊かな人間の育成 2 基礎・基本の重視と個性を生かす教育の充実 3 自己教育力の育成 4 文化と伝統の尊重と国際理解の推進 具体的には次の点に留意します。 ○魅力ある学校づくり ・学校の実態及び生徒の特性や希望する進路等を考慮し、創意と工夫を生かした教育課程を編成します。 ○自ら学ぶ力を育てる学習指導 ・基礎・基本を確実に定着させるとともに、一人一人の個性を生かす教育を推進します。 ・学習に主体的・自律的に取り組ませ、将来にわたって自ら学び続ける態度を育成します。 ○豊かな心を育てる指導 ・厳しく自己を見つめさせ、基本的な生活習慣の確立に向け指導します。 ・自らの適性や可能性を把握させ、自己実現に向け指導します。 ・豊かな人間性や社会性、健康でたくましい心身、国際社会に生きる人間としての自覚を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・態度・能力を身に付けた生徒を育成します。 1 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度をもち、豊かな情操と道徳心 2 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を有するとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度 3 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度 4 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度 5 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和4年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	スポーツテストの結果(Tスコア) 2.0ポイント以上向上
	望ましい健康管理意識の確立	学校で実施する全ての健診において、再検査・精密検査の受診率70%以上
	望ましい食習慣の確立	バランスの良い食事を心がけ、朝食を摂取している生徒の割合が96%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケートにおいて、「授業に満足している」生徒が90%以上
	学習意欲の向上	生徒の授業外での平均学習時間が2時間以上
	ICTを活用した授業の推進	ICTを使用することで「学習内容理解が深まった」生徒が90%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	医療・看護系のインターンシップに加え大学等でのアカデミック・インターンシップへの生徒の参加率30%以上
	キャリア教育の推進	将来の職業選択につながる大学での体験活動等を3回以上企画
	産業界との連携の推進	キャリア講演会、卒業生による講演会を計3回以上実施
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティスクールの運営	学校運営協議会を4回以上開催し、その提言を学校運営に反映させる。
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習により、「奈良に対する理解が深まった」と感じる生徒の割合が90%以上
	グローバルマインドの育成	国際的に活躍できる進路につながる学部・学科へ進学する生徒40名以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	望ましい生活習慣の確立	時間の有効活用や、計画的行動などを意識し、実行することを心がけている生徒が90%以上
	多様な生徒への支援	教育相談の取り組みと有効性に対し、肯定的評価をする生徒が90%以上
	「多様性」を尊重し、共に生きていくための意思と実践力の育成	「いじめ」や「差別」に気づいたとき、指摘したり、問題意識を持てる生徒が95%以上

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		科学技術の振興や社会の発展に貢献する人材の育成、グローバル人材の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校は、生徒一人一人の個性や創造性を伸ばす個に応じた教育を大切にしつつ、様々な課題に直面する変化の大きい社会の中で、豊かな社会の形成者として、心豊かな資質を伸ばし、科学技術の振興や社会の発展、国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。その実現のため柔軟な判断力と枠にとらわれない発想力で学びを深め、高い志をもち本校でその実現に向けて努力する生徒を求めます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 自らを大切にするとともに他者への思いやりの心をもち、国際社会や地域社会の発展に貢献しようとする生徒 3 基礎的な学力がついており、目標を掲げて学習に取り組む生徒 4 自ら考え行動できる生徒 5 探究的な学習に意欲的に取り組み、自ら課題を発見しようとする好奇心旺盛な生徒 6 数学や理科・科学技術に関心と興味をもち、将来科学技術の振興に貢献したい生徒(数理工情報科)
	教育課程の構成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、豊かな人間性・自ら学ぶ意欲と態度・自律した生活態度・道徳実現のための高い志の育成と、変化する社会に対応しうる能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 社会の変化に対応できる人材を育成するため、既存の科目にとらわれない学校設定科目を開設し、課題を発見し、その解決に向け粘り強く取り組む態度を育成します。 2 探究的な学びを重視し、「論理的な思考力」「総合的な判断力・表現力」「新しい価値観を創造する力」を育みます。 3 STEAM教育の視点に立った教科横断的な学習を意図し、未来指向の教育活動を展開します。 4 規律ある学校生活を通して、自律する力や規範意識を高め、未来の社会を担うための高い倫理観を育みます。 5 コミュニケーション力やリーダーシップ、健やかな心と体を育成し、他者と協働する力を醸成します。 6 国際教育に積極的に取り組み、世界を視野に入れたグローバル人材育成を意図した教育プログラムを提供します。 7 学校行事や課外活動、高大連携講座、ボランティア活動などを通して、視野を広げ、主体性と協働する意識を高め、社会に貢献する精神を涵養します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	1 自然や人間を大切にするとともに豊かな人間性を培い、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させることができる。 2 国際化・情報化の進む社会の中で、広い視野をもち、既存の価値観にとらわれず、自らの考えを論理的に表現し、行動することができる。 3 個性を生かし、学びをよりよい社会の創造につなげ、社会の一員として貢献することができる。 4 健やかな心と自主自律の精神をばくくみ、何事にも粘り強く取り組むことができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基礎体力についての意識の向上	運動習慣の定着及び、体力は必要だと思う生徒の割合90%以上の維持
	危機管理に対する意識の向上	危機管理について、自らを守るための意識や理解ができていていると回答する生徒の割合の増加(R3年度67%)
	望ましい生活習慣の確立	学校の指導は基本的な生活習慣を身につけるように行われていると回答する生徒の割合80%以上の維持
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	わからないことを自分で調べたり、諦めずにとらえたりしようとしていると回答する生徒の割合50%以上を目指す
	知識を活用して解決する力の向上	ジェネリックスキルテストにおけるリテラシーLevel4以上の割合の入学時から3年時の増加率13%以上を目指す
	オンライン教育の推進	教育活動全般に対してICTの活用を推進
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	アカデミック・インターンシップを含めたインターンシップの実施率25%以上を目指す
	キャリア教育の推進	進路について具体的に学んだり、深く考えたりする機会があると回答する生徒の割合80%以上を目指す
	対人関係能力の向上	ジェネリックスキルテストにおけるコンピテンシーLevel3以上の入学時から3年時の増加を目指す
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会の年度2回以上の開催
	ボランティア活動への参加促進	地域ボランティアへの参加者数のべ200名以上の維持
	自らの在り方について学ぶ機会の充実	生き方や在り方について学んだり、考える機会があると回答する生徒の割合85%以上を目指す
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	一人ひとりを大切にすると人権教育の推進	人権について学んだり、考えたりする機会が適切に設けられていると回答する生徒の割合90%以上の維持
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	いじめや暴力をなくす指導が適切に行われていると回答する生徒の割合90%以上を目指す
	教育相談の充実	「悩みを相談しやすい場所がある」「先生に相談しやすい雰囲気がある」と回答する生徒の割合80%以上を目指す

奈良県立香芝高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材 2 探究的な学習を通して、コミュニケーション能力や情報活用能力を備えた人材 3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材
教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身に付いており、主体的に学ぶ意欲の高い生徒 3 明るく、素直で、チャレンジ精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、激動の社会に対応できる能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応するために、多様な科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICTを最大限活用した授業を展開します。 3 情報活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育むため、言語活動を重視した探究型の学習を行います。 4 学習意欲の向上を図り、主体的な学び・深い学びに繋げるため、ICTを効果的に活用した授業プログラムを展開します。 5 主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養するため、学校行事や課外活動、ボランティア活動などを計画的に組み入れます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 個人の尊厳を重んじ、礼節を学び、常に和敬の心をもって自他の向上に努めることができる。(和敬) 2 学業に励み、真理を希求し、勤労と責任を重んじ、日々たゆまず努力し、新たな文化の創造に努めることができる。(創造) 3 常に心身の錬磨に励み、高い知性と健全な身体を培い、強固な意志とたくましい実践力を身に付けている。(錬磨)

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体力テストスコアの校内平均値が県平均値以上
	望ましい生活習慣の確立	1人あたり年度遅刻回数が2回以下
	自他を尊敬する和敬の心の涵養	校内生徒アンケートの設問「他人の気持ちや、きちんと思いやることができているか」に肯定的回答が95%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒授業アンケートの設問「(授業中に)考えたり、活動したりする時間が十分にあった」の評価が3.5以上
	学習意欲の向上	校内生徒アンケートの設問「授業中、充実感を感じていますか」に肯定的回答の割合が75%以上
	ICTを活用した教育の推進	校内生徒アンケートの情報活用能力に関する設問に肯定的回答が入学時比で20%増
	読書活動の推進	月に全く読書をしていない生徒の割合50%以下
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	アカデミックインターンシップを年度2校以上と実施
	地元企業等との協働事業の実施	年度2回以上の実施
	キャリア教育の推進	外部講師または社会人講師によるキャリア教育講演会を年度2回以上実施
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会を年度3回開催
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」のフィールドワーク及びプレゼンテーションを年度計3回以上実施
	地域の学校との交流の推進	相互交流事業を年度計5回以上実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	人権学習集中ホームルーム及び外部講師による人権講演会等を年度計5回以上実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	校内生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思う」に肯定的回答の割合が95%以上
	個別の教育支援計画の活用	教育相談・特別支援教育委員会の年度5回以上の開催

奈良県立大宇陀高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和5年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「新輝点 大宇陀高校」をスローガンとし、地域と共に歩み続ける学校づくりを進めながら、世界で活躍できる人材を育成します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	校訓をベースとした、以下のような資質のある生徒を「求める生徒像」としています。 (令和2年度以降、入学生の受け入れはなし) ・【剛健】困難に屈せず、精神力の強い人間になろうと努力する生徒 ・【進取】何事にも意欲的に取り組もうとする生徒 ・【偕和】自他敬愛の精神をもつ生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	生徒個々の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図るため、以下の教育を行います。 ・少人数制のクラス編成し、きめ細やかな学習指導及び社会人基礎力の向上を図ります。 ・習熟度別授業を行い、生徒個々の能力に応じた授業を展開します。 ・放課後の講習等を行い、既習事項の定着を図ります。 ・ICTを活用した授業の展開し、コロナ禍においても「対話的で探求的な学びの構築」を図ります。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業するまでの間に、以下の資質・能力を身につけた生徒の育成を目指します。 ・人に優しく自分に厳しく生きる生徒 ・将来を見つめ、失敗を恐れずチャレンジする生徒 ・自分の考えや主張を正しく伝えることができる生徒 ・社会人基礎力を身につけた、他者に信頼される生徒

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和4年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基礎体力の向上と規律正しい集団の形成	体育における集団行動のテスト合格90%を目指す
	体育系行事の開催 (体育大会、スポーツ大会など)	参加者100%を目指す
	食育や感染症対策に向けた心身の健康育成	定性的目標
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	ICTを活用した取組の充実	「電子黒板の授業」及び「タブレットを使った授業」の総回数が、年間30回以上を目指す
	基礎学力の向上	アンケートにて「基礎学力が向上した」と答える生徒80%以上を目指す
	家庭学習の習慣化	アンケートにて「平均家庭学習時間60分以上」と答える生徒80%以上を目指す
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	ソーシャルスキルの向上	ソーシャルスキルトレーニングに関する授業を年1回実施する
	進路に対する意識の醸成	就職応募前見学に1回以上参加する。また、就職セミナー及び実力養成講座の参加率を90%以上にする
	個々の希望する進路実現に向けたサポート	3年生の「進路満足度90%以上」を目指す
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	生徒主体の地域連携行事の運営	年間3回以上、地域連携行事を主催する
	地域行事等への積極的参加	各行事に全校生徒の半数程度が参加する
	大宇陀高校創立100周年記念行事の開催	多くの同窓会会員等を招聘し、本行事の成功を目指す(定性的目標)
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	多様な個性を認め合う人権意識の高揚	毎月「人権を確かめあう日」に標語を作成する
	支援を要する生徒へのフォローと理解	毎木曜日にSCによる研修会(情報交換会)を実施する
	保護者や地域への生徒活動の積極的な周知	行事の度に、生徒の活動をHP等で情報発信する

奈良県立榛生昇陽・宇陀高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		いのちを大切にすると未来を切り拓く力を育み、自信と誇りをもって地域に貢献する生徒の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を受け入れます。 1 本校の教育方針を理解する生徒 2 【普通科】 ICTの活用やグループワークなどにより学びを深め、主体的に自らのキャリアを形成できる力を身に付けて、文系大学等への進学を目指す生徒 3 【情報科学科】 プログラミングを楽しみながら学ぶことから、実社会の問題を発見・解決する力や協働して取り組む態度を身に付け、理系大学等への進学を目指す生徒 4 【こども・福祉科】 保育・幼児教育に携わるための基礎的事項の学び、介護福祉士国家試験合格を目指す専門的な学び、介護・医療を含めた福祉全般についての学び、これら3つの学びのうちからいずれかに取り組み、地域の教育や福祉を担う熱意と意欲のある生徒 5 【専攻科】 介護福祉士の国家資格を取得し、専攻科修了後、奈良県内の社会福祉施設等で介護の業務に従事する意思を有している者
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上、基礎学力の定着と応用力の養成、豊かな心の涵養、自己実現への主体的な態度の育成、及び地域社会に貢献する意欲と行動力の育成のために、以下の教育を行います。 1 学校行事や課外活動を含む学校生活全般を通して、規範意識、人を思いやる姿勢、互いに成長し合える人間関係、及びコミュニケーションを回って協働する力を養います 2 基礎的・基本的な知識・技能の習得と応用力の養成により、着実に学力を向上させます。 3 キャリア教育を充実させ、ICTの活用やグループ活動を取り入れて、「主体的・対話的で深い学び」を展開します。 4 計画的・個別的なサポートにより、国家資格取得と検定合格に導きます。 5 施設実習・保・幼・こ・小・中を含む学校周辺地域との交流やボランティア活動により、学校での学びを地域社会の問題発見や解決に活用する力を養い、地域社会に貢献する意欲と行動力を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 学校で身に付けた基礎的・基本的な知識・技能を、上級学校での学びに繋げたり、地域社会の問題発見や解決に活用しようとするができる。 2 在学中に取得した資格、合格した検定を基に、就職先、進学先においてより専門的技術・知識を習得するために主体的に学び続けることができる。 3 社会の一員として、よりよき社会の実現のために、協働を推進することができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体力テスト体力合計点の全学年平均48.0(各項目得点6点)以上
	望ましい運動習慣の確立	1日の運動・スポーツ実施時間30分以上の割合70%以上
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率95%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上
	教職員の資質向上	研修講座に参加・活用した教職員の割合90%以上 教員同士の授業公開、年度3回以上実施
	ICTを活用した教育の推進	全授業におけるICT活用率70%以上 教職員の情報活用指導力90%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	SSシートを毎朝記入100%
	進学先、就職先、学科関連施設・機関との連携	特別非常勤講師、社会人講師等、外部講師による「出前授業」を、各学年・学科年度3回以上実施
	実習・インターンシップの充実	施設実習・インターンシップへの生徒の高校・専攻科在籍中参加率85%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	学校運営協議会の運営	学校運営協議会の年度2回開催
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	校外学習、修学旅行、及び長期休業中の課題を含めた学びによる「奈良TIME」の学習成果の発表の機会を年間3回以上設ける。 専攻科基礎科目「地域の生活」における宇陀の伝統・文化等に関する学習について、外部講師を招いた授業を年間10時間以上行う。
	宇陀市・曾爾村・御杖村・宇陀高等学校・奈良県教育委員会・奈良教育大学の包括連携に基づく保育・幼児教育施設、小・中学校との連携	生徒・教員による保育・幼児教育施設、小・中学校との交流を年度3回以上実施
	地域と共にある学校づくりの推進	保育・幼児教育施設、地域行事での生徒によるボランティア活動を年度3回以上実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	いじめアンケートの年度2回実施と、確認されたいじめ全事象の早期解消
	特別支援教育推進委員会による支援の推進	対象となる生徒の状況についての全教職員による共通理解の場を年度5回実施 スクールカウンセラーや外部機関との連携により具体的な支援の検討と生徒・保護者への支援・助言の提供
	多文化共生教育の推進	外国人生徒が在籍する専攻科と高校の合同授業や学校行事を学期に1回は実施

奈良県立西和清陵高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		他者を尊重し、さわやかに振る舞うとともに、課題解決に尽力するなど、社会人としての「生きる力」を育成します
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 ①本校の使命や教育方針を理解する生徒 ②本校で学びたいという強い意識を持ち、自己実現に向けて、主体的に学習に取り組む生徒 ③部活動やボランティア活動等を通して学校生活全般に意欲的に取り組む生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、校訓「清新・敬愛・力行」の精神を基調として、社会人としての「生きる力」を育成することを、教育目標として、その実現のために以下の教育を行います。 ①日々の学習を通して確かな学力を身に付けさせるとともに、思考力・判断力・表現力を高める授業を展開する。 ②人権を尊重する態度やコミュニケーション力を培い、自他を敬愛する心と社会規範意識を高める。 ③心と体のバランスを整える力を養い、充実した生き生きとした学校生活を送らせる。 ④人生100年時代を見据えたキャリア教育を推進し、「何を、どのように学び、どう活躍するか」を主体性を持って考え、実践しようとする生徒を育てる。 ⑤進路実現に向け、2年次から文系、文理系、理系のコースを設定するとともに多様な学びに応じた選択教科を設ける。 ⑥進路実現に向けて、進路先の訪問や、招聘する機会等を設けて、個に応じた進路指導を徹底する。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 ①自己の考えをもち、周りの人々と適切なコミュニケーションが図れ、他と協力して問題解決できる。 ②西和清陵高校生としての誇りを持ち、地域社会に貢献でき、信頼される。 ③人権意識と社会規範意識を身に付けている。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい運動習慣の確立	スポーツテストにおけるTスコア8%アップ
	クラブ活動を通じた、達成感、成就感、自己肯定感等の向上	部活動加入率80%以上
	健康教育の一環として、望ましい食習慣の確立	毎朝の朝食摂取率80%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	基礎・基本的な学力を身につけさせるとともに、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫	BYODにより、効果的にICTを活用した授業の実践
	SDGsの視点を取り入れるなどした探究活動による「主体的・対話的で深い学び」の実現	SDGsに関わる課題研究の発表会の開催
	学習意欲の向上と自立した主体的な学びの実現	在学中の各種検定取得者70%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリアコンサルティングの充実	生徒理解と可能性を伸ばすキャリア教育の推進
	様々な場面でのコミュニケーションを通じた、ものの見方や考え方の育成	産業界・事業所と連携したインターンシップ参加率30%
	一人一人の生徒の能力や適性に応じた進路指導の工夫・充実	ミスマッチを防いだ進路保障に努め、1年以内の離職率は5%以下、退学率は1%以下とする。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの効果的な運営	教職員との連携と学校運営協議会の年度3回の実施
	地域協働「地域と共にある学校づくり」の工夫・充実	地元事業所・役場と連携した行事の開催
	災害時のボランティア活動の推進	地域と協働した定期的な防災訓練の実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	誰も取り残さない取組の実践するため、生徒情報の共有化等の組織的体制づくりを完成させる
	特別支援教育の推進	出身中学校も連携し、対象となる生徒の状況を組織的に把握し、個に応じた指導を実践する。
	世界人権宣言を尊重する教育の推進	外部人材を活用した効果的な学習の実践



奈良県立法隆寺国際高等学校 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		県立高等学校唯一のユネスコスクールとして、自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、生涯学びつづけようとする生徒 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジしようとする生徒 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献しようとする生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	○基本方針 1 すべての教育活動における「基礎・基本」の徹底を図り、社会生活を営む上で必要な「知識」を身に付け、進路実現に必要な「学力」を習得し、「自分の力で生き、社会を支える力」をもった生徒の育成を行います。 2 「基礎・基本」の徹底のために、各教科・科目の「ねらい」を明確化し、基礎となるもの及び基本となるものを明らかにして、「学力」の向上を図ります。 3 各教科・科目の連携を図り、組織的・系統的な学習を行うとともに、学習内容や教材の精選に努め、指導方法の工夫を行い、効果的な学習指導を展開します。 4 学習環境を整備し、学業規律の確立に努めるとともに、計画的な学習習慣が身に付くように生活面の指導充実に努めます。  ○実現のための教育 1 すべての学科において、ICTを活用した学習の充実に努め、生徒の個性に適した学習指導の展開を図ります。 2 普通科においては、第2学年から生徒の進路希望に応じ、文型・理型の2類型と選択科目を設定します。 3 歴史文化科では、「教育課程特例校」として体験学習や臨地学習も取り入れた特色ある専門科目を設定します。 4 総合英語科では、異文化理解を深め、世界に情報発信できる語学力の向上を目指す特色ある専門科目を設定します。 5 各学科の特色を生かし、県立高校唯一のユネスコスクールとしての取組を進めます。 6 学校行事や課外活動、ボランティア活動などを通して、主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、生涯学びつづけることができる。 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジできる。 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献できる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体カテストA判定生徒の割合15%以上
	望ましい運動習慣の確立	運動・スポーツを週3日以上実施する生徒の割合60%以上
	道徳教育の充実	自他を尊重し、多様性を受け入れられる生徒の割合100%
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度80%以上
	基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	3年次、学習到達ゾーン(GTZ)C2以上の割合60%以上
	学習意欲の向上	授業時間外でICTを活用した学習時間平均、週3時間以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ(アカデミックインターンシップ等を含む)参加生徒の割合25%以上
	キャリア教育の推進	3年次、自分の将来の働いている姿を思い描ける生徒の割合70%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	地域活動(清掃活動等)に参加する生徒の割合50%以上
	郷土の伝統、文化、歴史等に関する学習の推進	郷土の伝統、文化、歴史等に興味をもつ生徒の割合60%以上
	グローバルマインドの育成や外国語教育の推進	異なる文化的背景をもつ仲間と情報交換し、課題解決に向けて協働できる生徒の割合60%以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人としての営みの中で必要な人権感覚・知識の涵養	生活の中で差別に気づき、自分の問題として捉えることができる生徒の割合100%
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	いじめについて相談できる人がいる生徒の割合100%
	帰国生徒等一人一人に応じた日本語教育の実施	3年次、日本語能力試験(JLPT)N1取得率70%以上

奈良県立磯城野高等学校 中期計画

[高等学校用]

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		衣食住について専門的に学び「生きる力」を培い、農業系・家庭系の未来のスペシャリストを育成します。 (具体像) 1 生徒が自己実現、進路実現できる力を育成します。 2 生徒の専門分野の知識・技能を伸ばさせます。 3 奈良県の農業科教育、家庭科教育の中核として、その実践・成果を発信していきます。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	磯城野高校は「実践型教育」により農業系・家庭系のスペシャリストを育てる学校です。 本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 ①笑顔の絶えない生き生きとした生徒＝「和顔」 ②がまん強く最後までやり遂げる生徒＝「堅忍」 ③新しいものに積極的に取り組む生徒＝「創造」
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	【全科共通】 ①各専門分野における資格取得に加え、就職や進学など多様な進路希望に対応できるよう、柔軟な教育課程の編成を行います。 ②第3学年に「課題研究」を設定し、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につけさせます。 ③専門科目では、少人数指導並びにチームティーチングを導入し、きめ細かい個別指導を行います。 ④学校外のスペシャリスト(大学講師など)の授業を導入し、より実践的な知識・技能を修得させます。 【農業系学科】 ①学科の特色を生かし、専門性に沿った進路に対応するためにコース制をとり、学校設定科目の導入や、学科間連携による選択科目を設定します。 ②各専門分野における資格取得・検定合格につながる知識・技能を修得させます。 ③学校農業クラブ関係の各種発表会・競技会参加に対応するために、実習とプロジェクト学習とを有機的に結びつける工夫を行います。 ④模擬株式会社運営を通して、生徒が自ら企画し、実践する応用的・発展的な力を養成します。 ⑤3年時に、科目「総合選択」を設定し、学科の枠を超えた学習を行います。 【家庭系学科】 ①学科の特色を生かし、幅広い専門性を身に付けるため、特色に応じた学校設定科目を導入します。 ②フードデザイン科は厚生労働省の認可施設(認可基準を満たす施設)になっており、調理師免許取得・製菓衛生師受験資格取得につながる知識・技能を修得させます。 ③ライフデザイン科はデザインと縫製を中心に学習し、ファッションを表現する知識と技術を養成します。 ④ヒューマンライフ科は学校での学習だけでなく、高齢者施設や幼稚園での実習を行い、実践力を養成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 専門的知識・技術を獲得し、スペシャリストに求められる創造的な能力と実践的な態度 2 自らの将来を切り開いていく態度及び社会で自立できるための力 3 生徒が活躍できるプロジェクトを設定し、成就感や達成感を体得することによる、自己肯定感の醸成 4 生徒会活動・部活動並びに地域との交流の積極的な推進による、コミュニケーション能力の向上

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	健康教育の充実	保健だより、食育新聞を学期に各1回以上発行する。 生徒対象のアンケート項目「本校は健康や安全に関わる指導に積極的に取り組んでいると思いますか」で肯定的回答を90%以上にする。
	食育の推進	食育に関心がある生徒の割合を70%以上にする。 朝食を毎日食べる生徒を95%以上にする。
	体力の向上	体力テストにおける、合計点を県平均の95%以上にする。
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現	生徒対象の授業アンケートの関連3項目で、肯定的回答をいずれも90%以上にする。
	教職員の資質向上	年度内2回学習指導研究月間を設定し、1人10回以上の授業見学を行う。 教育研究所等の研修に全教員が年間3回以上、参加する。
	魅力と活力あるこれからの高校づくり	生徒・保護者対象のアンケート項目「本校には、他の学校にはない特色がありますか」で肯定的回答95%以上にする。
	ICTを活用した教育の推進	全ての科目でICTを活用した授業を導入する。 「教員のICT活用指導力」の調査における、肯定的回答90%以上にする。
	学校における働き方改革	月1度の定時退校日を設定する。 ストレスチェックにおいて職場におけるストレス値の平均を95以下にする。
	安全安心な教育環境の整備	毎月の安全点検を実施。発見された不具合の箇所を速やかに修復する。 各学期1回以上、避難訓練等を実施する。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育・職業教育の推進	キャリアパスポートを活用し、全生徒が具体的にキャリアデザインを描くことができる。 全生徒の70%がインターンシップを経験する。 職業観の醸成を図るためのガイダンスを各学年1回以上開催する。
	社会に役立つ実学教育の推進	生徒対象の授業アンケートにおける実習関連2項目で、肯定的回答をいずれも90%以上にする。 専門教科において、校外授業、社会人講師による授業を各学期1回以上実施する。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域との連携・協議推進	地域学校協働活動を10事業以上設定する。
	地域社会に貢献する人材の育成	地域学校協働活動に全生徒の50%以上が参加する。
	グローバル人材の育成	全生徒の10%以上が実用英語検定を受検する。 海外の学校との交流事業を推進する。
	社会教育の推進	教員または生徒が、地域の社会教育施設の地域学校協働事業へ参加する。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校教育における人権教育の推進	保護者対象のアンケート項目「生徒に人権を尊重する態度を身につかせようとしていると思いますか」で肯定的回答95%以上にする。
	いじめ・不登校等への対策	生徒対象のアンケート項目「本校の先生方は、いじめなどのない楽しい学校づくりに努めていると思いますか」で肯定的回答90%以上にする。
	特別支援教育の推進	教育相談委員会・特別支援教育推進委員会を各学期1回以上開催し、支援を必要とする生徒の情報共有し、個別支援計画を作成する。
	多文化共生教育の推進	多文化共生に関するHR・講演会などを各学年1回以上設定する。

奈良県立高取国際高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月 ~ 令和7年3月	
本校の使命(スクールミッション)	地域から学び、地元や国内のみならず、世界で活躍できる人材の育成	
(スクール・ポリシー) 教育方針	入学者の受入に関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や学力が身に付いており、夢に向かって一生懸命に努力する生徒 2 旺盛な知的好奇心と、主体的に行動する姿勢を併せ持つ生徒 3 人権尊重の精神を持ち、人や自然との共生意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒の進路実現を図るために必要な科目選択が可能なカリキュラムを編成します。 2 実社会を生き抜く強い心と人を大切にしたい心とを育みます。 3 規律ある学校生活を通して、基本的な生活習慣と自律的態度を身に付けた生徒を育成します。 4 様々な文化を理解する力や、幅広い視野と豊かな人権感覚、他者尊重と社会貢献の精神を涵養します。 5 地域から学び、生徒自らが課題を発見し解決する意欲や能力を育むため、探究的な学びを積極的に取り入れます。 6 学校行事や課外活動、進路対策講座やガイダンス等を通して視野を広げ、進路を主体的に実現する力を育てます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 1 多様な他者と協働するために必要な資質・能力を備え、より良い社会を形成しようとする事ができる。 2 Society5.0の中で、これからも一層変わり続ける世界に対応するために、自ら学び続けることができる。 3 生涯にわたって自らの健康・安全を維持し、自身のキャリア実現を通して地域社会や国際社会で活躍できる。

<具体的目標>

	項目	目標値等 (*「」内は生徒アンケート項目)
1.心と身体を子供の成長に合わせて育む	体力の向上	新体力テスト得点の向上(平均58点以上)
	望ましい生活習慣並びに健康維持の確立	保健室来室者数の減少(年間延べ450回以下)
	学校内外における規範意識の向上	「学校のルールを守っている」(90%以上)
2.学ぶ力、考える力、探究する力を育む	ICT教育の推進と質的向上	「授業で効果的にICTを活用されているか」(70%以上)
	指導と評価の一体化に向けた工夫改善	「ポイントがわかりやすく学ぶ意欲がわく授業か」(80%以上)
	探究型の課題解決学習の充実	「自分の考えを発表する等を多く取り入れているか」(90%以上)
3.働く意欲と働く力を育む	インターンシップ及びキャリアセミナーへの参加	インターンシップ参加生徒の割合(25%以上)
	就職希望者に関する応募前企業見学の充実	希望者各自の応募前企業見学の実施(希望職種3社以上)
	図書室の利活用を通して様々な分野のキャリア研究	各自の図書室利用回数が週1回以上の者(15%以上)
4.地域と協働して活躍する人を育てる	地域との協働事業の充実	飛鳥駅前活性化会議開催及び生徒会役員の参加(年3回以上)
	国際交流に関する地域並びに協定大学との協働事業拡充	国際交流行事並びに事業開催(年2種別以上)
	学校運営協議会(CS)の発展的運用	学校運営協議会の内容吟味及び弾力的開催(年5回以上)
5.地域で個性が輝く仕組みをつくる	多文化共生教育の充実と推進	帰国渡日生の日本語検定昇級(60%以上)
	地域の特別支援学校及び視覚障害老人福祉施設との交流	「交流を通して意識や態度を高めることができた」(80%以上)
	教育相談体制の充実とスクールカウンセラーとの連携	スクールカウンセラーを交えたケース会議(月1回以上)

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		工学的な知識・技術を活用し、グローバルな視点を持ちながら地域コミュニティを支えるグローバルな人材の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1. 「ものづくり」に興味・関心があり、技術等の習得に前向きに取り組む生徒 2. 規律を守り、意欲的に高校生活を送りたいと強く思っている生徒 3. チャレンジ精神旺盛で、協調性を持って目標に挑戦する生徒 4. 専門知識と技能を習得し、資格取得や検定合格に取り組む生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・人権尊重の精神に徹し、正しい生き方の自覚を深め、社会連帯の精神を養うとともに、人間性豊かな生徒の育成に努めます。 ・基礎学力の定着を図り、専門的な知識と技術を習得させるとともに、創造的な知性・技能を育てます。 ・正しい判断力と強い意志力、たくましい心身を育てるとともに、自律的な生活態度を養います。 ・体験的な学習や実践を通して、正しい職業観や勤労観を身につけさせるとともに、自信と意欲をもたせます。 本校では上記の教育方針の下、その実現に向けた以下のような教育を行います。 1. 生きる力の基礎、心身ともに豊かな人間性を育成する普通教科と、社会形成能力を育成する専門教科を実践します。 2. 普通教科を中心とした基礎学力の定着から、工業(特に機械、電気、情報)に関する専門教科を座学や実技を通して協働的・実践的・体験的に学ぶ教育を実践します。 3. グローバルに活躍できる技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り人間力を養成するための教育を実践します。 4. 課題対応能力を育成するため、学校設定科目・課題研究では、協働型・問題解決型・探究型学習を実践します。 5. グローバルな人材を育成するため、地域や産業界との連携を図り、就業体験学習等を通してキャリア教育を実践します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 1. 主体的に社会を生き抜くために必要な、自ら行動する力・考える力 2. 真理の探究に向け、自ら学び、協働的に粘り強く挑戦する力 3. 専門知識技能、ものづくり力を身につけ、コミュニティ(特に工業分野)に貢献できる力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	・健康教育の充実	・教育相談(カウンセリング等)の満足度を高める
	・食育の推進	・朝食摂取率90%以上
	・体力の向上と運動習慣の定着	・体育実技授業への積極的な参加を促すとともに、必要な支援を施し、授業参加率90%以上を目指す ・新体カテスト平均Tスコア50.0以上 ・学校行事や体育授業を通して、運動習慣の定着を目指す
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	・主体的・対話的で深い学びの実現	・探究系科目における授業アンケート(授業満足度70%以上)
	・教職員の資質向上	深い学びの実現に関する教員研修回数(年4回)
	・ICTを活用した教育の推進	普通科を含めたすべての授業アンケート(「ICTを適切に使用している」70%以上が科目数の半数を超える)
	・安全安心な教育環境の整備	科目実習や課題研究の授業アンケート(「安心、安全な教育環境を実現している」70%以上)
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	・キャリア教育・職業教育の推進	・インターンシップの実施(参加者95%以上) ・卒業生による進路講演会の実施(企業12社以上、進学先2校以上)
	・社会に役立つ実学教育の推進	・進路講演会の実施各学年1回以上 ・基礎力診断テストの実施(1学年2回、2学年2回、3学年はSPI)
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	・地域との連携・協働推進	・学校運営協議会を活用し、地域の意見や期待を踏まえ学校運営を行う
	・高大連携	・進学希望者に対するアカデミックインターンシップを実施
	・地域社会に貢献する人材の育成	・王工版デュアルシステムの実施(参加学年・クラスの10%程度) ・県内企業に就職したいと考える生徒数の割合35%→40%以上
	・グローバル人材の育成	・英語検定の合格者数を現状の1.5倍を目指す
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	・いじめ・不登校等への対策	・アンケートや面談をとおして、早期発見につとめる
	・特別支援教育の推進	・特別支援委員会で認定した生徒への必要な支援を行い、卒業・進級率90%以上
	・多文化共生教育の推進(外国人児童生徒等への対応)	・三年間の人権教育計画に沿ったHRの実施率90%以上
	・学校教育における人権教育の推進	・「人権を確かめ合う日」アビール文を年7回発行して全生徒と職員に啓発する

奈良県立大和広陵高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月～令和7年3月	
本校の使命(スクールミッション)	スローガン <スポーツ(部活動)をとおしての人づくり> ・教育活動を通して、一人一人の進路実現、自己実現を目指します ・体育活動、スポーツ活動を通して、健やかな身体、健全な精神を育てます ・地域での活動や社会参加活動を通して、地域と融合し地域の活性化に寄与する人材を育てます	
教育方針 (スクールポリシー)	入学者の受入に関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 ・学業をはじめ、学校生活に前向きに努力できる生徒 ・何事においても、仲間と協働して取り組める生徒 ・中学校において、学級活動、生徒会活動、部活動等に積極的に参加し、高校入学後も継続して活動する意思をもっている生徒 ・体育活動、スポーツ活動に興味、関心のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 ・生徒が主体的に学び、確かな基礎学力を培う授業の実践 ・キャリア形成において、生涯を見通したコミュニケーション力、表現力、問題解決力の育成を目指した教育活動の実践 ・地域での活動や社会参加活動を通して、他者尊重の姿勢を育み、自己肯定感・有用感の醸成を図る教育活動の実践 ・将来、地域や社会に貢献できる人物の育成を目指し、スポーツ・文化的活動を通して探求的な活動や地域への支援・交流活動を行う
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 ・キャリア形成を目指した学習を通して、自ら考え、学ぶ力と探究する心 ・心身を鍛え、進路を拓く確かな学力を身に付け、将来地域に貢献していく志 ・スポーツ、文化的活動を通して培う高い人間力

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	・体力の向上と運動習慣の定着	・生徒アンケートにおいて、「スポーツテスト、日々の体育授業のトレーニングを通して、前年に比べ体力の向上がみられた」回答80%以上
	・部活動の活性化	・新入生、部活動加入率90%以上 ・部活動集会の実施、運動部月に1回・文化部学期に1回、合同で学期に1回の開催 ・地域の小・中学校の部活動やスポーツ団体等との交流
	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻、早退数の前年度比10%減少 ・生徒アンケートにおいて、「適切な言葉遣いで、あいさつ・敬語の使用ができる」回答85%以上 ・清掃活動の充実、運動部と文化部・各委員会等が定期的に合同清掃を実施
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・観点別評価の充実	・生徒アンケートにおいて、「授業に意欲的に取り組んだ」回答85%以上 ・生徒アンケートにおいて、「学習の成果がわかりやすく評価され、学習を進めるために役立っている」回答85%以上
	・魅力と活力のある学校づくり	・野外活動、水上、スキー（3級検定合格10%以上）等のスポーツ実習の充実についての生徒満足度80%以上 ・体育大会、球技大会等行事の充実についての生徒満足度80%以上
	・オンライン教育の推進	・ICTを活用した指導の充実、教員アンケートにおいて、授業でのデバイス使用80%以上 ・教員の情報研修を年間2回以上実施し、指導力の向上を図る
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	・キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実	・キャリアパスポートを通して、目的意識を明確にし、自己実現に向かう姿勢を育てる（4月実施の進路希望調査における「未定」回答者の50%減）
	・インターンシップの推進	・一般企業、役所、スポーツ施設等との連携を強化し、生徒の職業意識を高める取組を充実する ・インターンシップなど就業体験への参加生徒を現状比200%に増大させる
	・地元企業との連携の推進	・進路説明会への地元企業の参加増加を促進 ・1年フィールドワークでの地元企業とのコラボ企画を目指す ・参加生徒の満足度80%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	・学校運営協議会による活動基盤の構築	・学校運営協議会の委員が主導して、年間2回以上を開催し、地域との連携を推進する
	・地域理解を深める取組の推進	・奈良TIMEのフィールドワークなどの活動を通して、地域理解を深める。生徒アンケートにおいて、目標達成に関する満足度80%以上
	・社会教育の推進	・地域の関係機関との連携を強化し、地域のイベント、施設・企業との連携事業を立ち上げる
5. 地域で個性が輝く仕組みをつくる	・人権教育の推進	・人権意識の向上と人間関係づくりの充実 ・生徒アンケートにおいて、「人権HR活動を中心とした校内活動や地域協働活動を通して、人権意識が向上した」回答80%以上
	・いじめ防止方針に基づく取組の推進	・いじめ防止基本方針の点検・見直しと、いじめアンケートの年間2回以上の実施 ・人権HR活動を中心とした豊かな情操の育成
	・特別支援教育の推進	・カウンセリング、特別支援（通級）指導におけるスクリーニング会議の実施 ・ストレスチェックアンケートを年2回実施 ・カウンセリングだよりの発行、生徒対象年間10回、保護者対象年間1回

奈良県立大淀・奈良南高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域住民等が参画することにより、信頼される「魅力ある学校づくり」に努めます。また、様々な教育活動を通して人権尊重の精神をもち、社会に貢献する自立した人材を育成します。普通科・情報科学科・総合学科・専攻科を有する高等学校として奈良県・地域社会のニーズに応えています。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、次のような生徒を積極的に受け入れます。 ・本校の使命や教育方針を実践できる生徒 ・基礎的な学力が身に付いており、主体的・探求的に取り組める生徒 ・人権尊重の精神に徹し、他者を認め、社会貢献の意識の高い生徒 ・将来、奈良県内の企業等で建築や土木の業務に従事する意思を有しているもの(専攻科)
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を育成するため以下の教育を行います。 ・生徒一人一人の興味・関心、進路選択に応じたカリキュラムを編成します。 ・学力の向上を図り、生徒一人一人の自己実現を目指します。 ・道徳心や公共心を育み、ボランティア活動を推進し、社会の一員として社会に貢献する精神を育てます。 ・基本的な生活習慣を身に付け、規範意識を向上させることにより、正しい判断力を涵養します。 ・部活動への積極的な参加を促し、体力・気力の向上を図ります。 ・専門的な内容をより深く学び、資格等の取得を目指します。(専攻科)
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業(修了(専攻科)までに、以下の資質・能力の育成をめざします。 ・確かな学力や自主的創造的な態度や能力を身に付け、社会に貢献することができる。 ・人権尊重の精神に徹し、規律を重んじ、道徳心や社会の連帯意識を身に付けている。 ・国際理解、情報化、価値観の多様化などの社会の変化に対応できる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	健康教育の充実	心身に関する配慮生徒に対する研修機会の増加
	食育の推進	保健所と連携した望ましい食習慣の確立
	運動習慣の定着	普段の運動習慣を身に付ける指導の実施 授業・部活動への参加率を高める
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	進路実現を意識した基礎的な学力の向上	基礎学力テストでの成績(スコア)の向上
	教職員の授業力・資質向上	各教科の研究授業を実施年1回以上 生徒・保護者の授業満足度の向上
	学校における働き方改革の推進	超過勤務時間10%減
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップ等の充実	インターンシップ等の参加率25%以上
	キャリア教育の推進	進路選択時のキャリアパスポート活用率50%以上
	キャリア意識・職業意識の高揚	就職応募前見学の参加率100%
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域社会に貢献する人材の育成	リーダー研修会の実施年2回 出前授業、体力測定支援の実施
	ボランティア活動の充実	通学路清掃年4回実施 校外美化活動年3回実施
	学校運営協議会の推進	年間3回実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	不登校への対策	生徒理解、支援シートの活用 不登校生徒理解のための会議年3回実施
	人権教育の推進	人権職員研修年3回実施
	特別支援教育の推進	個別の教育支援計画の作成 ケース会議年7回実施
	いじめ対策	生徒アンケート・二者面談の実施 年2回実施 いじめ防止対策委員会の実施 年3回実施

奈良県立吉野高等学校 中期計画

1 スクール・ミッション

本校の使命(スクール・ミッション)	120年余の伝統を礎として、実学教育を推進し、ものづくりを通して地域社会の発展に貢献できるスペシャリストを育てます。
-------------------	------------------------------------------------------------

2 スクール・ポリシー

対象期間		令和4年4月 ~ 令和5年3月
教育方針 (スクール・ポリシー)	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 実学教育を推進し、自ら進んで学習し、自ら将来を切り拓くことができる。 2 卒業後、地域に根ざし、本学で学んだことを活かし、地元産業を牽引することができる。 3 進取の気概を持ち、間違に次代を担えることができる。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、生徒一人一人の夢と希望の実現に向け、以下の教育を行います。 1 生涯を豊かにする確かな学力を育むと共に、達成感と成就感を伴う多くの成功体験ができる教育内容を編成します。 2 実学教育を推進し、生涯にわたり学習する意欲と態度を培い、習得した専門技術を生かし、地域社会の発展や産業の振興に貢献する生徒を育てます。 3 豊かな自然環境のもとで、豊かな社会性と人間性をもつ生徒を育てます。 4 地域社会への貢献活動を通して、自己有用感や自己肯定感を持つ人材を育てます。 5 規律ある生活を通して、規範意識の育成や基本的な生活態度の涵養を図り、心身ともに健康で忍耐力のあるたくましい生徒を育てます。

「奈良県教育振興基本計画(奈良の学び推進プラン)」が示す各テーマごとの実現目標

テーマ	実現目標	令和4年度末 目標値等
1 こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	スポーツテストの結果を踏まえ、体育の授業で体力の向上を図る。スポーツテストの7種目において、全国及び奈良県の平均値を上回ることを目指す。
	健康・安全に関する理解を深める	年に2回以上の健康・安全に関する講習会を実施する。薬物乱用防止教室、SNSの正しい使い方教室、単車実技安全講習、献血教室・がん予防教室等を計画し、実施する。
	食育を推進し、健康管理に関する知識行動を高める	家庭と連携を図り、生徒の朝食摂取率90%を目指す。健康や体にやさしい食物、適切な摂取方法を学習し、健康を意識した生活習慣を確立する。
2 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	学ぶ興味を呼び起こす	全教育活動において生徒の興味関心に応じた授業内容を精査し、学習プログラムを作成する。授業アンケートを実施し、授業改善に取り組む。
	専門学科での特色を活かした授業展開を実施	専門性に特化した内容の課題研究に取り組む。地元地域のニーズを調査し、令和3年度末に導入したスマート専門高校の機器を活用し、企画・デザインの段階から作品製作に取り組む。
	オンライン教育の推進	タブレットやスマートフォンを活用した学習教材の開発を行う。コロナ対応等で自宅学習において、100%実施できるようにする。令和3年度末に導入した情報機器を十分に活用する。
3 働く意欲と働く力をはぐくむ	将来の進路を意識し、社会人基礎力を養う	基本的な生活習慣を身に付け、あいさつ・マナーなど規範意識を向上させる。欠席日数・遅刻回数を前年比25%減を目指す。
	専門性を身に付ける(スペシャリスト)	早期に進路目標を持たせ、各種資格・検定の受検を促す。卒業までに、3つ以上の資格を有する生徒が、全校の60%を目指す。国家資格取得にも積極的に取り組む。
	キャリア教育の推進	早期に進路目標を定める指針とすべく、キャリア教育を推進し、各専門的な分野で3回以上の取組を実施する。社会人講師による授業や地元建設業・林業の企業と連携した学習活動を展開する。
4 地域と協働して活躍する人を育てる	地域連携の推進	交通安全グッズ製作・配布や各種のボランティア活動に積極的に参加する。その参加者が、全校の60%以上を目指す。地元の教育界・産業界と連携を図り、地域貢献に取り組む。
	地域の伝統・文化に関する学習の推進	全国でも有名な「吉野」地方と本校の設置意義を考え、自分たちが学習している分野で有意義な課題研究を行う。伝統技術・伝統文化を学習・修得し、次代を担う能力を培う。
	地域とともにある吉野高校の活動	地元中学校へ行事での技術協力を積極的に行う。吉中友灯工房や葉ボタン栽培、スマホ教室などに協働活動を行う。創立120周年を迎え、地域へ感謝の意を示していく。
5 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習資料の活用と地域とのつながり	人権に係わる奈良県や吉野町の各種応募に積極的に参加し、人権意識の涵養に努める。人権作文・人権標語などに参加し、取組を進める。
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止基本方針に基づく取組を推進させる。卒業までのいじめ全件追跡を実施する。また、いじめを発見した場合、適切に対応できる生徒の割合80%以上を目指す。
	個別の教育支援計画や個別指導計画の活用	生徒一人一人に寄り添った支援計画を作成する。また、要支援生徒の適性に応じて個別指導計画を作成し、全教職員で共有し、すべての教育活動でサポートする。

奈良県立十津川高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成、将来の地域を担う人材の育成及び輩出
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 本校で学ぶ強い意志のある生徒 3 相手を尊重し、互いの違いを認め合える生徒 4 集団生活のできる生徒 5 将来の進路について自ら考え、その実現に向け自ら行動できる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、十津川の雄大な自然と地域の温もりの中で、スクール・ミッション達成のために以下の教育を行います。 1 生活面、学習面において、生徒一人一人に合ったきめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣の定着に基づく確かな学力の育成に取り組みます。 2 生徒一人一人の興味関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成し、学校の特色を活かした学校設定科目を開設して専門性を深める教育を行います。 3 多様な学習に取り組み、生徒自ら課題を見つけ、自ら実践し、ICT機器を活用して考えを表現できる力を育成します。 4 生徒や地域住民の生命と未来を守るため、防災教育及びキャリア教育を推進します。 5 規律ある集団生活を通して、規範意識やコミュニケーション能力を育成します。 6 小中高の連携、ボランティア活動など地域と共にある学校づくりの活動を通して、自尊感情や自己有用感を涵養します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成に努めます。 1 人とのつながりを大切にす視点を基に、地域への愛着や誇りをもって地域に貢献しようとするができる。 2 卒業後も向上心をもって意欲的に学び続けることができる。 3 正しい判断力を身に付け、自らの進路を切り開くことができる。 4 自然災害から身を守り、他人や地域の安全を支えることができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	自己有用感の醸成	・アンケート調査で「私のことをわかってくれる友だちがいる」と回答する生徒の割合70%以上 ・アンケート調査で「私は保護者や家族から大切にされている」と回答する生徒の割合70%以上
	望ましい食習慣の確立	・「食習慣」に関する保健だより等を年1回以上発行 ・朝食摂取率80%以上
	望ましい運動習慣の確立	アンケート調査で「運動することが好き」と回答する生徒の割合80%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的な学びの実現に向けた授業改善	生徒の目標達成度平均70%以上
	少人数クラス・選択授業の充実	生徒の授業満足度平均70%以上
	ICTを活用した教育の推進	・ICTを活用した授業時間外の学習時間1日1時間以上 ・生徒の情報活用能力の向上80%以上 ・教員のICT指導力の向上80%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	アカデミック・インターンシップを含むインターンシップ参加率50%以上
	産業界との連携の推進	「出前授業」「現地研修会」に協力いただいた企業数20社以上
	キャリア教育の推進	キャリアパスポート活用率の向上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会の年度2回の開催
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	地域の理解を深めたと実感できる生徒の割合80%以上
	地域の活性化に資する活動の推進	地域住民とふれあう活動ができた実感できる生徒の割合80%以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	いじめは絶対に許されないと理解する生徒の割合100%
	特別支援教育の推進	学期ごとに対象となる生徒の状況を組織的に確認
	人権教育学習資料を活用したLHRの実施	・「なかまとともに」などを活用した、時代や生徒の状況に照らし合わせたLHRの実施 ・事後アンケートで「しっかり学習することができた」の回答80%以上